

10月12日(水) 9:15～12:30 A会場

2011年東北地方太平洋沖地震(地震発生の物理・震源過程)

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 中原 恒・八木勇治・岡元太郎・鈴木 亘

- 9:15 A11-01 断層の力学からみた2011年東北地方太平洋沖地震のメカニズム研究における現状と今後の課題
°嶋本利彦(中国地震局地質研)・廣瀬丈洋(JAMSTEC高知コア研)
野田博之(IFREE, JAMSTEC)・澤井みち代(広大理)・東郷徹宏(防災科研)
- 9:30 A11-02 津波波形・GPS地殻変動・海底地殻変動データの同時インバージョンにより推定された
2011年東北地方太平洋沖地震の震源過程
°谷岡勇市郎・グスマンアディティア(北大理)
対馬弘晃(気象研)・酒井慎一(東大地震研)
- 9:45 A11-03 2011年東北地方太平洋沖地震の震源過程モデルの再考と地球物理学的な解釈
°八木勇治(筑波大生命環境)・深畑幸俊(京大防災研)
- 10:00 A11-04 東北地方太平洋沖地震の動的破壊過程と海底面変動
°田村慎太郎・井出 哲(東大理)
- 10:15 A11-05 2011年東北地方太平洋沖地震(M9.0)の短周期エンベロップ・インバージョン解析
°中原 恒(東北大理)
- 10:30 A11-06 2011年東北地方太平洋沖地震の広帯域強震動生成と震源破壊過程の関係
°浅野公之・岩田知孝(京大防災研)
- 10:45 休憩
- 11:00 A11-07 強震記録による2011年東北地方太平洋沖地震の震源過程とスケーリング則
°吉田邦一・宮腰 研(地盤研)・入倉孝次郎(愛知工大)
- 11:15 A11-08 2011年東北地方太平洋沖地震の破壊過程と近地全波形モデリング
°岡元太郎(東工大)・竹中博士(九州大)・原 辰彦(建築研)
中村武史(JAMSTEC)・青木尊之(東工大)
- 11:30 A11-09 プレート形状を考慮した強震波形インバージョンによる平成23年(2011年)東北地方
太平洋沖地震の震源過程の推定
°鈴木 亘・青井 真(防災科研)・関口春子(京大防災研)・功刀 卓(防災科研)
- 11:45 A11-10 2011年東北地方太平洋沖地震の初期に見られる孤立的破壊の連鎖
°内出崇彦(京大防災研・UCサンディエゴ)
Huajian Yao・Peter M. Shearer(UCサンディエゴ)
- 12:00 A11-11 2011年東北地方太平洋沖地震破壊過程の周波依存とプレート境界の滑り連鎖
°石井水晶・Eric Kiser(Department of Earth & Planetary Sciences, Harvard University)
- 12:15 A11-12 2011年東北地方太平洋沖地震の発生過程に関する動的破壊シミュレーション
三井雄太(北大理)・°飯尾能久・深畑幸俊(京大防災研)

10月12日(水) 9:15～10:15 B会場

テクトニクス

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 橋間昭徳

- 9:15 B11-01 相模トラフ・フィリピン海プレートのテクトニクスの新展開
～丹沢衝突に伴う、海溝ジャンプによる海洋島弧地殻剥ぎ取り仮説～
°篠島僚平(日本大)
- 9:30 B11-02 堆積環境からみた瀬戸内海西部海域における断層活動性に関する一考察
°山本健太・田中雅章・小西克文・國西達也(中国電力)・高智英二郎(総合地質調査)
- 9:45 B11-03 野島断層付近での地下への空気の圧入に伴う変化の検出実証試験
°笠原順三(NTTデータCCS,静岡大理)・伊藤慎司・藤原友宏(NTTデータCCS)
羽佐田葉子(大和探査)・鶴我佳代子(東京海洋大)・生田領野・藤井直之(静岡大理)
山岡耕春(名大環境)・西上欽也・伊藤 潔(京大防災研)
- 10:00 B11-04 スマトラ北西沖海域調査の国際的な取り組みと2004年波源域南部の津波発生モデル仮説のレビュー(その3)
°平田賢治(気象研)・富士原敏也・木下正高・荒木英一郎・金松敏也・徐 亘・町山栄章
中村恭之(JAMSTEC)・荒井晃作(産総研)・徳山英一(東大大気海洋研)・馬場久紀(東海大)

10月12日(水) 10:15～12:30 B会場

岩石実験・地殻応力

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 廣野哲朗・溝口一生

- 10:15 B11-05 岩石破壊に伴うマイクロ波放射の測定系再構築と測定結果速報
°高野 忠・加藤 淳・平島 舞・三枝健二(日大理工)
- 10:30 B11-06 光弾性物質による砂山内部構造の定量的解析(2)
— 崩壊の予測を目指して —
°吉岡直人(深田地質研)
- 10:45 休憩
- 11:00 B11-07 粉体ダイナミクスが支配する動的摩擦強化
°桑野 修・波多野恭弘(東大地震研)
- 11:15 B11-08 サンアンドレアス断層帯のクリープしている部分から採取したSAFODガウジの中速摩擦特性
°澤井みち代(広大・理)・嶋本利彦(中国地震局地質研)
Thomas Mitchell(Ruhr-Univ.)・北島弘子(Penn-State Univ.)
- 11:30 B11-09 断層すべりにより生成される磨耗物物性のすべり速度依存性
°溝口一生(電中研)・廣瀬丈洋(JAMSTEC)
- 11:45 B11-10 石英ガウジの表面積測定を用いた破壊エネルギーの見積もりと変位の増加に伴う石英ガウジの焼結について
°東郷徹宏・福山英一(防災科研)・嶋本利彦(中国地震局)
- 12:00 B11-11 地震性滑りによる高温流体の発生とそれに伴う物理化学的過程
°本多 剛(大阪大)・谷川 亘・石川剛志(JAMSTEC)・廣野哲朗(大阪大)
- 12:15 B11-12 粘土鉱物の脱OH反応が地震時の断層滑り挙動に与える影響について
°廣野哲朗(大阪大)・谷川 亘(JAMSTEC)

10月12日(水) 9:15~12:30 C会場

地球及び惑星の深部構造と物性, 地殻構造

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 竹内 希・江本賢太郎・入谷良平・仲西理子

地球及び惑星の深部構造と物性

- 9:15 C11-01 レシーバ関数を用いて明らかにした九州地方のフィリピン海スラブによる流体輸送
°安部祐希・大倉敬宏・平原和朗(京大理)・澁谷拓郎(京大防災研)
- 9:30 C11-02 Global Subducting Slab Entrainment of Oceanic Asthenosphere: Re-examination of Sub-Slab
Shear-wave Splitting Pattern
°Teh-Ru Alex Song (JAMSTEC), Hitoshi Kawakatsu (ERI/U Tokyo)
Li-Jun Liu (IGPP/UC San Diego)
- 9:45 C11-03 S波とScS波を用いたランダム速度不均質構造の推定
°江本賢太郎・佐藤春夫・西村太志(東北大理)
- 10:00 C11-04 表面波を用いた南太平洋大海膨の上部マントル3次元S波速度構造
°一瀬建日・塩原 肇(東大地震研)・杉岡裕子・伊藤亜妃・末次大輔(JAMSTEC)
- 10:15 C11-05 NECESSArrayで観測されたケルマデック地域地震のP波振幅変化
°田中 聡(JAMSTEC)・川勝 均(東大地震研)・大林政行(JAMSTEC)
宮川幸治・出原光暉(東大地震研)・利根川貴志(JAMSTEC)
入谷良平(東大地震研)・NECESSArrayプロジェクトチーム
- 10:30 C11-06 NECESSArrayトリプリケーションデータを用いた上部マントルP波走時トモグラフィ
°竹内 希・川勝 均(東大地震研)・田中 聡・大林政行(JAMSTEC)・入谷良平・宮川幸治
出原光暉(東大地震研)・利根川貴志(JAMSTEC)・NECESSArrayプロジェクトチーム
- 10:45 休憩
- 11:00 C11-07 NECESSArray, F-netによる太平洋LLSVP北西縁のマントル最下部におけるS波速度構造の変化
°出原光暉(東大地震研)・田中 聡(JAMSTEC)・竹内 希・川勝 均(東大地震研)
大林政行(JAMSTEC)・宮川幸治(東大地震研)・利根川貴志(JAMSTEC)
入谷良平(東大地震研)・NECESSArrayプロジェクトチーム
- 11:15 C11-08 NECESSArray data解析による内核西半球の減衰・速度構造
°入谷良平・川勝 均(東大地震研)・田中 聡(JAMSTEC)
竹内 希(東大地震研)・大林政行(JAMSTEC)・宮川幸治・出原光暉(東大地震研)
利根川貴志(JAMSTEC)・NECESSArrayプロジェクトチーム
- 11:30 C11-09 D”不連続面上下の地震波速度異方性の観測と鉱物物理学的解釈
°白井佑介・土屋卓久(愛媛大GRC)・平松良浩(金沢大自然)

地殻構造

- 11:45 C11-10 四国沖から紀伊半島沖にかけての構造変化と地震現象との関係
°仲西理子・下村典生・小平秀一・尾鼻浩一郎・高橋 努・山本揚二郎・佐藤 壮
藤森英俊・柏瀬憲彦・金田義行(JAMSTEC)・望月公廣・加藤愛太郎・飯高 隆
藏下英司・篠原雅尚(東大地震研)・武田哲也・汐見勝彦(防災科研)
- 12:00 C11-11 紀伊半島下に沈み込むフィリピン海スラブ周辺の3次元地震波速度構造(序報)
°澁谷拓郎・福居大志(京大防災研)・平原和朗(京大理)
中尾節郎・西村和浩・澤田麻沙代(京大防災研)
- 12:15 C11-12 紀伊半島下の深いスラブ内地震にみられるチャンネル波
°三好崇之・齊藤竜彦・汐見勝彦(防災科研)

10月12日(水) 9:15～10:45 D会場

地震活動

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 小菅正裕・村井芳夫

- 9:15 D11-01 高い空間分解能をもつ地震活動のシミュレーション
°津村建四朗(地震予知総合研究振興会)
- 9:30 D11-02 長期海底地震観測から得られた北海道・根室沖の大地震発生域周辺の地震活動とコーダ Q^{-1}
°村井芳夫(北大理)・日野亮太・伊藤喜宏・鈴木秀市(東北大理)・金田義行(JAMSTEC)
- 9:45 D11-03 2004年新潟県中越地震震源域北端部で発生したM5.9の地震直後の2次余震の震源分布
°小菅正裕(弘前大理工)
- 10:00 D11-04 稠密地震観測による近畿地方北部におけるメカニズム解と応力場
°青木裕晃・片尾 浩・飯尾能久・三浦 勉・中尾愛子
米田 格・澤田麻沙代・中尾節郎(京大防災研)
- 10:15 D11-05 深部低周波微動発生時の超低周波帯域におけるモーメント解放量推定
°竹尾明子・西田 究(東大地震研)・汐見勝彦(防災科研)
- 10:30 D11-06 福岡県西方沖地震および周辺の地震発震機構特性と応力場モデル化の試み2
°松本 聡・植平賢司・松島 健・清水 洋(九大地震火山セ)

10月12日(水) 11:00～12:30 D会場

活断層・歴史地震

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 石山達也・楮原京子

- 11:00 D11-07 須賀利大池(三重県)の地層に記録された過去2400年間の津波堆積物
°岡橋久世(香港大)・藤原 治(産総研活断層セ)・安原盛明(香港大)・吉川周作(大阪市立大)
- 11:15 D11-08 宝永地震後の地殻変動:史料等から確認できること
°松浦律子(地震予知振興会)・中村操(防災情報サ)・松田時彦(地震予知振興会)
- 11:30 D11-09 1707年宝永地震の規模の再評価
°石川有三(産総研)
- 11:45 D11-10 関東M8級地震の発生確率は低いか
°井元政二郎・藤原広行(防災科研)
- 12:00 D11-11 LIDARデータ,空中写真,旧版地形図の分析から推定された三浦半島南部の海岸線変化と過去複数回の関東地震
°金 幸隆(東大地震研)・熊木洋太(専修大環境地理)・佐竹健治(東大地震研)
- 12:15 D11-12 三浦半島小網代湾内でのジオスライサー掘削:関東地震履歴解明に向けて
°島崎邦彦・石辺岳男・佐竹健治(東大地震研)・須貝俊彦・千葉 崇(東大新領域創成)
岡村 眞・松岡裕美(高知大理)・藤原 治(産総研活断層セ)

10月12日(水) 13:30～14:50 A会場

若手学術奨励賞記念講演
(講演時間 20分・質疑応答 5分)
座長 篠原雅尚

- 13:30 会長挨拶
平原和朗(日本地震学会会長)
- 13:35 A12-01* 地震波と津波の波動現象に関する理論的研究
°齊藤竜彦(防災科研)
- 14:00 A12-02* 高周波数地震コーダ波を用いた地殻内部応力変化による断層深部構造の時間変化の検出
°平 貴昭(UC Berkeley)
- 14:25 A12-03* 実体波を用いた決定論的および統計論的手法による地球内部構造イメージングに関する研究
°利根川貴志(JAMSTEC)

10月12日(水) 15:00～17:00 A会場

2011年東北地方太平洋沖地震(地震発生の物理・震源過程)
(講演時間 12分・質疑応答 3分)
座長 加藤尚之・加藤愛太郎

- 15:00 A12-04 2011年東北地方太平洋沖地震発生前の準静的なすべりの伝播
°加藤愛太郎・小原一成・五十嵐俊博・鶴岡 弘・中川茂樹・平田 直(東大地震研)
- 15:15 A12-05 沈み込み帯浅部断層物質の摩擦特性を考慮した東北地方太平洋沖地震発生サイクルのモデル化
°芝崎文一郎(建築研)・堤 昭人(京大)・氏家恒太郎(筑波大)
長谷川昭・伊藤喜宏(東北大)・松澤孝紀(防災科研)
- 15:30 A12-06 2011年東北地方太平洋沖地震の力学的モデル(1):浅部アスペリティを仮定した地震サイクルシミュレーション
°加藤尚之・吉田真吾(東大地震研)
- 15:45 A12-07 2011年東北地方太平洋沖地震の力学的モデル(2):浅部アスペリティの成因となる間隙水圧分布
°吉田真吾・加藤尚之(東大地震研)
- 16:00 A12-08 A model of earthquake cycle with thermal fluid pressurization near the surface:
Giant earthquake in not a strong region
°三井雄太(北大理)・加藤尚之(東大地震研)・深畑幸俊(京大防災研)
- 16:15 A12-09 M9巨大地震の発生を説明する地震発生サイクルモデル
°光井能麻・鷺谷 威(名大環境)
- 16:30 A12-10 東北地方太平洋沖地震による誘発地震の発生メカニズム
°寺川寿子・橋本千尋(名大)・尾形良彦・松浦充宏(統数研)
- 16:45 A12-11 粘弾性、間隙弾性及び誤差の共分散成分を考慮した2011年東北地方太平洋沖地震の余効すべり分布
°竹村英紀・佐藤利典(千葉大理)

*は招待講演

10月12日(水) 15:00～17:00 B会場

強震動・地震災害

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 渡辺基史・岩城麻子

- 15:00 B12-01 浅部地殻での塑性化を考慮した地表断層と潜在断層の生成メカニズム
°和田一範(鉄道総研)・後藤浩之(京大防災研)
- 15:15 B12-02 統計的グリーン関数の継続時間と地震動予測
°増田 徹(東大地震研)
- 15:30 B12-03 広帯域強震動予測のための高周波数地震動合成手法の検討
°岩城麻子・藤原広行(防災科研)
- 15:45 B12-04 関東堆積盆地における巨大海溝型地震の地震動予測とそのバリエーション
°関口春子(京大防災研)・吉見雅行・堀川晴央(産総研)
- 16:00 B12-05 海溝型巨大地震の震源モデル設定手法についての考察
°渡辺基史(清水建設)・藤原広行・森川信之(防災科研)・奥村俊彦(清水建設)
- 16:15 B12-06 地震動予測地図の改良に向けての考察
°藤原広行(防災科研)
- 16:30 B12-07 クラウドサービスによる強震モニタの公開
°青井 真・功刀 卓・中村洋光・鈴木 亘(防災科研)
早川俊彦(MSS)・東 宏樹・藤原広行(防災科研)
- 16:45 B12-08 IT 強震計による常時微動観測と構造物ヘルスマモニタリングの可能性
°志田龍太郎(東大新領域)・鷹野 澄(東大情報学環)・伊藤貴盛(東大地震研)

10月12日(水) 15:00～17:00 C会場

地殻構造

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 浅野陽一・酒井慎一

- 15:00 C12-01 日本周辺域の等価弾性層 -再訪-
°田中明子(産総研地質情報)
- 15:15 C12-02 西フィリピン海盆東部およびパレスベラ海盆西部における海洋地殻の地震波速度構造
°西澤あずさ・金田謙太郎・及川光弘・小原泰彦(海上保安庁海洋情報部)
- 15:30 C12-03 MeSO-net で見えてきたフィリピン海プレートの構造
°酒井慎一・中川茂樹・笠原敬司・楠城一嘉・蔵下英司
ヤニスバナヨトプロス・加藤愛太郎・小原一成・佐藤比呂志
平田 直(東大地震研)・明田川保(温地研)・木村尚紀(防災科研)
- 15:45 C12-04 稠密地震観測による首都圏北東部下のスラブ接触域における地震波速度構造
°蔵下英司・佐藤比呂志(東大地震研)・阿部 進・溝畑茂治(地科研)・平田 直(東大地震研)
- 16:00 C12-05 箱根-富士吉田測線地殻構造探査速報: 富士火山噴出物下のプレート境界断層のイメージング
°佐藤比呂志・岩崎貴哉・石山達也(東大地震研)
阿部 進・溝畑茂治(地科研)・野田克也(ジオシス)・伊藤谷生(平成帝京大)
- 16:15 C12-06 箱根火山における 2009 年の群発地震発生とクラック分布との関係
°丹原 裕・田所敬一(名大環境)・行竹洋平・本多 亮・伊東 博(温地研)

- 16 : 30 C12-07 Ps 変換波の剥ぎ取り解析による S 波異方性速度構造の推定
 °小田 仁 (岡大理)
- 16 : 45 C12-08 観測された S コーダ波エネルギー密度と散乱係数
 °浅野陽一・齊藤竜彦 (防災科研)

10月12日 (水) 15 : 00 ~ 17 : 00 D 会場

活断層・歴史地震

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 金 幸隆・阿部信太郎

- 15 : 00 D12-01 北海道留萌沖における活褶曲とその活動性について
 °阿部信太郎・関根真弓 (地震予知振興会)・荒井良祐 (川崎地質)
- 15 : 15 D12-02 国府津 - 松田断層帯の高精度浅層反射法地震探査
 °石山達也・加藤直子・佐藤比呂志 (東大地震研)・戸田 茂 (愛知教育大)
 北村重浩・中山貴隆 (東大地震研)・小池太郎 (ジオシス)
- 15 : 30 D12-03 布田川・日奈久断層帯・八代海海底断層群の分布と活動履歴
 °楮原京子 (産総研活断層セ)・坂本 泉・滝野義幸 (東海大)
 井上直人・北田奈緒子 (地盤研)・岡村行信 (産総研活断層セ)
- 15 : 45 D12-04 Riedel shear structures of co-seismic surface rupture zone produced by 2001 Mw 7.8 Kunlun earthquake, Tibetan Plateau
 °林 愛明・西川雅之 (静岡大)
- 16 : 00 D12-05 上町断層帯における重点的な調査観測について
 °岩田知孝 (京大防災研)・上町断層帯重点調査観測研究グループ
- 16 : 15 D12-06 近世京都における地震災害の特徴と要因
 °西山昭仁 (東大地震研)
- 16 : 30 D12-07 内陸型地震による地殻変動災害のリスク
 °川崎一郎 (立命館歴防・東濃地震科研)
- 16 : 45 D12-08 被覆層のダイレイタンスーを考慮した地表地震断層のシミュレーション
 °安藤広一・山崎晴雄 (首都大)

10月13日 (木) 8 : 45 ~ 12 : 15 A 会場

2011 年東北地方太平洋沖地震 (地震発生の物理・震源過程, テクトニクス, 地殻構造)

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 小山順二・趙 大鵬・松原 誠・松澤 暢

- 8 : 45 A21-01 2011 年東北沖巨大地震震源域のトモグラフィと発生機構
 °趙 大鵬・黄 周伝・海野徳仁・長谷川昭・金森博雄 (東北大理)
- 9 : 00 A21-02 東北地方太平洋沖地震の震源過程：沈み込んだ海山の破壊？
 °熊谷博之・Nelson Pulido・福山英一・青井 真 (防災科研)
- 9 : 15 A21-03 2011 年東北沖巨大地震が明らかにした巨大地震の多様性
 °小山順二・吉澤和範・蓬田 清・都築基博 (北大理)

- 9:30 A21-04 2011年東北地方太平洋沖地震における二重セグメント：その特異性と他の超巨大地震との比較
 °蓬田 清・小山順二・吉澤和範・都筑基博（北大理）
- 9:45 A21-05 日本海溝沿いのスーパーサイクルと2011年東北地震の予見可能性
 °瀬戸内 一起・横田裕輔（東大地震研）
- 10:00 A21-06 強震・遠地・地殻変動データと津波データのジョイントインバージョンから見る2011年東北地震の震源過程
 °横田裕輔・瀬戸内 一起（東大地震研）・藤井雄士郎（建築研）
 佐竹健治・酒井慎一・篠原雅尚・金澤敏彦（東大地震研）
- 10:15 休憩
- 10:30 A21-07 東海地震の原動力はPHSプレートの沈み込みだけか？
 - 2011年東北地方太平洋沖地震が示唆すること -
 °石橋克彦
- 10:45 A21-08 2011年東北沖地震に伴う震源域周辺の応力変化
 °長谷川昭・吉田圭佑（東北大）・浅野陽一（防災科研）
 岡田知己・飯沼卓史・伊藤喜宏（東北大）
- 11:00 A21-09 M9の地震が発生するとは思わなかった根拠と実際にそれが発生した理由について
 °松澤 暢（東北大理）・飯尾能久（京大防災研）
- 11:15 A21-10 アウターライズ地震の種類
 °江口孝雄（防衛大）
- 11:30 A21-11 緊急調査から見てきた2011東北沖地震の実態
 °小平秀一・富士原敏也・野 徹雄・中村恭之・藤江 剛
 海宝由佳・三浦誠一・佐藤 壮・山下幹也・堀 高峰
 深尾良夫・中村武史・高橋成実・金田義行（JAMSTEC）
- 11:45 A21-12 太平洋プレート内の高/低速度境界付近で発生した東北地方太平洋沖地震
 °松原 誠（防災科研）・小原一成（東大地震研）
- 12:00 A21-13 東北地方太平洋沖地震と誘発地震～4月7日のスラブ内地震（M7.1）について～
 °中島淳一・長谷川昭・北佐枝子・太田雄策（東北大）・大園真子（北大）・三浦 哲（東大地震研）

10月13日（木）8:45～12:15 B会場

強震動・地震災害，2011年東北地方太平洋沖地震（強震動・地震災害）

（講演時間12分・質疑応答3分）

座長 吉村智昭・山本俊六・野口科子・若井 淳

強震動・地震災害

- 8:45 B21-01 震度分布を利用した巨大地震の破壊域の即時推定
 °山本俊六・佐藤新二・岩田直泰・是永将宏・野田俊太・伊藤賀章（鉄道総研）
- 9:00 B21-02 最大振幅値出現までの時間を利用した簡易マグニチュード推定方法
 °野田俊太・山本俊六・是永将宏・岩田直泰・伊藤賀章（鉄道総研）
- 9:15 B21-03 強震動予測手法に関するベンチマークテスト（その6：理論的手法）
 °久田嘉章・松本俊明（工学院大）・永野正行（東京理科大）・野津 厚（港空研）
 宮腰 研（地盤研）・中川太郎（フジタ）・浅野公之（京大防災研）
- 9:30 B21-04 強震動予測手法に関するベンチマークテスト（その7）統計的グリーン関数法
 °加藤研一（小堀鐸二研）・久田嘉章（工学院大）・大野 晋（東北大）・野畑有秀（大林組）
 森川 淳（小堀鐸二研）・山本 優（大成建設）・川辺秀憲（京大原子炉）

- 9:45 B21-05 強震動予測手法に関するベンチマークテスト (その8: 数値解析手法)
 °吉村智昭 (大成建設)・永野正行 (東京理科大)・青井 真・岩城麻子 (防災科研)
 川辺秀憲・上林宏敏 (京大原子炉)・早川 崇 (清水建設)
 Seckin Ozgur CITAK (JAMSTEC)・大西良広 (京大工)・久田嘉章 (工学院大)
- 10:00 B21-06 内陸地殻内地震によるやや短周期地震動を再現するようにチューニングされた特性化震源モデル群
 °野津 厚 (港空研)
- 10:15 休憩
- 10:30 B21-07 細粒分を多く含む砂質系表層土の液状化に及ぼす深部地層構成の影響
 °浅岡 顕 (地震予知総合研究振興会)・野田利弘・中井健太郎 (名大)
- 10:45 B21-08 経験的サイト増幅・位相特性を考慮した地震動推定手法拡張の提案
 - 2011年東北地方太平洋沖地震への適用性検討を通じて -
 °若井 淳・野津 厚 (港空研)
- 11:00 B21-09 2011年長野県北部の震源近傍における高密度の地震動推定と建物被害との比較
 °山田真澄 (京大防災研)・山田雅行・福田由惟 (ニュージェック)
 スマイス クリスティン (京大防災研)・香川敏幸・藤野義範・羽田浩二 (ニュージェック)
- 11:15 B21-10 2011年東北地方太平洋沖地震・本震時における KiK-net 地点のサイトファクターの変化
 °池浦友則 (鹿島技研)
- 11:30 B21-11 2011年東北地方太平洋沖地震の強震データに基づく表層地盤の非線形応答特性
 °野口科子・佐藤浩章 (電中研)・笹谷 努
- 11:45 B21-12 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震における長戸・川瀬建物群モデルによる予測被害率
 °宝音 図 (京大工)・川瀬 博・松島信一 (京大防災研)

2011年東北地方太平洋沖地震 (強震動・地震災害)

- 12:00 B21-13 Building Damage and Ground Motion Characteristics during the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake
 ° Hao Wu, Kazuaki Masaki, Kojiro Irikura, Xin Wang(AIT)

10月13日(木) 8:45～12:15 C会場

日本の地殻内状態のモデル化を目指して

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 波多野恭弘・楠城一嘉・山口哲生・横井佐代子

- 8:45 C21-01 日本の地殻内応力状態の推定を目指して
 °楠城一嘉 (東大地震研)・堀 高峰 (JAMSTEC)・庄 建倉 (統数研)
- 9:00 C21-02* 非地震性すべりと地震活動異常と地殻変動異常
 °尾形良彦 (統数研)
- 9:15 C21-03 ETASモデルからの逸脱関数による地震活動異常の推定
 °熊澤貴雄 (総研大)・尾形良彦 (統数研)
- 9:30 C21-04 2008年茨城県沖の地震(M=7.0)に先行した地震活動の静穏化と活発化
 °勝俣 啓 (北大理)・酒井慎一 (東大地震研)

*は招待講演

- 9 : 45 C21-05 2011 年東北地方太平洋沖地震に先行する地球潮汐の地震トリガー作用
 ° 田中佐千子 (防災科研)
- 10 : 00 C21-06 地殻応力状態と地震活動：離散要素モデルにおける「地震活動」からの示唆
 ° 波多野恭弘 (東大地震研)・Clement Narteau(IPGP)・Peter Shebalin(IEPTMG)
- 10 : 15 休憩
- 10 : 30 C21-07 Testing and Evaluation in Seismology
 ° Danijel Schorlemmer (GFZ Potsdam)
- 10 : 45 C21-08 New developments of the Collaboratory for the Study of Earthquake Predictability (CSEP) testing framework
 ° Maria Liukis (SCEC, USC), Danijel Schorlemmer (GFZ), John Yu (SCEC, USC)
 Phil Maechling (SCEC, USC), Jeremy Zechar (SED, ETH)
 Thomas H. Jordan (SCEC, USC), and the CSEP Working Group
- 11 : 00 C21-09 地震発生予測検証実験の現状と展望 - 3ヶ月予測実験 -
 ° 横井佐代子・楠城一嘉・鶴岡 弘・平田 直 (東大地震研)
- 11 : 15 C21-10 基本的な地震活動予測モデルの提案
 ° 山科健一郎 (東大地震研)
- 11 : 30 C21-11 震源域の構造不均質により生じる応力不均質と震源過程 - pore fluid factor の推定 -
 ° 宮武 隆 (東大地震研)
- 11 : 45 C21-12 摩擦構成則と余震の空間分布に基づく大地震の滑り分布推定
 ~ 2011 年東北地方太平洋沖地震への適用例 ~
 ° 岩田貴樹 (早稲田大)
- 12 : 00 C21-13 ゲルのすべり摩擦におけるスロースリップと巨大地震
 ° 山口哲生 (東大工)・堀 高峰・阪口 秀 (JAMSTEC)・J.- P. Ampuero(CALTECH)

10月13日(木) 8:45 ~ 10:15 D会場

地殻構造

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 津村紀子・佐藤 壮

- 8 : 45 D21-01 日本海溝域アウターライズにおける地殻構造とその不均質性
 ° 藤江 剛・小平秀一・佐藤 壮・高橋 努 (JAMSTEC)
- 9 : 00 D21-02 地震探査による日本海東縁南部・能登半島沖～酒田沖の地殻構造変化
 ° 佐藤 壮・野 徹雄・高橋成実・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- 9 : 15 D21-03 2011 年東北地方太平洋沖地震前後の内陸の地震活動と地殻構造
 ° 岡田知己・吉田圭佑・長谷川昭 (東北大理)・2011 年東北地方太平洋沖地震合同観測グループ
- 9 : 30 D21-04 スペクトル比法を用いたコーナー周波数の推定と東北地方の地震波減衰構造 (その 2)
 ° 羽田周平・中島淳一・内田直希 (東北大)・速水絵里圭 (東北大, 現・気象庁)・海野徳仁 (東北大)
- 9 : 45 D21-05 東北地方中央部における詳細な地震波減衰構造
 ° 四ヶ所健太・岡田知己・中島淳一・内田直希 (東北大予知セ)・速水絵里圭 (気象庁)
 松澤 暢・海野徳仁・長谷川昭 (東北大予知セ)
 2008 年岩手・宮城内陸地震合同余震観測グループ
 2011 年東北地方太平洋沖地震合同観測グループ
- 10 : 00 D21-06 濃尾地震震源域周辺の 3 次元地震波減衰構造
 ° 津村紀子 (千葉大院理)・加藤愛太郎 (東大地震研)
 中島淳一 (東北大予知セ)・濃尾合同観測グループ

10月13日(木) 10:30~12:15 D会場

地震の理論・解析法

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 平井 敬・川方裕則

- 10:30 D21-07 coda-Q値モニタリングによる地殻応力場推定に関する基礎的研究
°岡本京祐・三ヶ田均・後藤忠徳・武川順一(京大工)
- 10:45 D21-08 M²の鉱山地震の発生が見込まれる断層を透過する弾性波のモニタリング
-南アフリカ Ezulwini 金鉱山
°川方裕則・吉光奈奈(立命館大)・中谷正生(東大)・Joachim Philipp(GMuG)
土井一生(立命館大)・直井 誠(東大)・Tony Ward・Gilbert Morema(Seismogen)
Vlok Visser・Sifiso Khambule・Thabang Masakale(OHMS)・Alex Milev・Ray Durrheim(CSIR)
Luiz Ribeiro(First Uranium)・Mike Ward(Seismogen)・小笠原宏(立命館大)
- 11:00 D21-09 粘性流体を含む亀裂によるSH波散乱の2次元差分法シミュレーション
°椎名高裕(東北大)・河原 純(茨城大)・岡元太郎(東工大)
- 11:15 D21-10 メモリ変数を用いた粘弾性媒質における地震発生サイクルシミュレーション
°平原和朗・大谷真紀子・鹿倉洋介(京大理)
- 11:30 D21-11 巨大地震の自由振動と震源過程
°谷本俊郎(UCサンタバーバラ)・五十嵐光嗣(東大理)
- 11:45 D21-12 強震記録による東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動の算定とモーメントマグニチュード即時推定の可能性
°平井 敬・福和伸夫(名大環境)
- 12:00 D21-13 時間領域差分法による地震波動としての近地地震津波の数値計算
°竹中博士・藏本稔大(九州大)・中村武史(JAMSTEC)・岡元太郎(東工大)・豊国源知(極地研)

10月13日(木) 13:15~17:00 A会場

2011年東北地方太平洋沖地震(地殻変動)

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 佐藤まりこ・伊藤喜宏・福島 洋・鷲谷 威

- 13:15 A22-01 震源域直上の海底圧力観測に基づく2011年東北太平洋沖地震に伴う海溝付近の地震時すべり
°伊藤喜宏(東北大予知セ)・辻 健(京大工)・長田幸仁・木戸元之・稲津大祐(東北大予知セ)
林 豊・対馬弘晃(気象研)・日野亮太・藤本博己(東北大予知セ)
- 13:30 A22-02 海陸測地観測データに基づく2011年東北地方太平洋沖地震の地震時すべり分布
°飯沼卓史・木戸元之・長田幸仁・稲津大祐・日野亮太・太田雄策・鈴木秀市
藤本博己(東北大理)・大園真子(北大理)・対馬弘晃(気象研)・三浦 哲・篠原雅尚(東大地震研)
- 13:45 A22-03 GPS音響計測で観測された2011年東北地方太平洋沖地震による海底変動
°木戸元之・長田幸仁・藤本博己・日野亮太・伊藤喜宏(東北大予知セ)
- 14:00 A22-04 海底圧力観測で捉えられた2011年東北地方太平洋沖地震とその前震による地殻変動
°日野亮太・稲津大祐・伊藤喜宏・飯沼卓史・太田雄策・鈴木秀市・長田幸仁
木戸元之・藤本博己(東北大理)・篠原雅尚(東大地震研)・金田義行(JAMSTEC)

- 14:15 A22-05 複合測地観測による M7.3 (3月9日) 地震時・地震後地殻変動
 °太田雄策・稲津大祐(東北大理)・大園真子(北大理)・日野亮太・三品正明・中島淳一
 伊藤喜宏・飯沼卓史・佐藤忠弘(東北大理)・田村良明(国立天文台)・藤本博己
 立花憲司・出町知嗣・長田幸仁(東北大理)・篠原雅尚・三浦 哲(東大地震研)
- 14:30 A22-06 2011年東北地方太平洋沖地震前後の海底の動き
 °佐藤まりこ・石川直史・氏原直人・渡邊俊一・吉田 茂
 藤田雅之(海上保安庁)・望月将志・浅田 昭(東大生産研)
- 14:45 A22-07 海底地殻変動観測強化に必要な海底 GPS 観測システムの改良
 °藤本博己・木戸元之(東北大理)・田所敬一(名大環境)・佐藤まりこ
 石川直史(海上保安庁)・浅田 昭・望月将志(東大生産研)
- 15:00 休憩
- 15:15 A22-08 重力衛星 GRACE で見た 2011年東北沖地震の重力変化
 °松尾功二・日置幸介(北大自然史)
- 15:30 A22-09 ハイブリッド重力観測で検出された 2011年東北地方太平洋沖地震による列島規模の重力変化
 °張 新林・田中愛幸・今西祐一・大久保修平・福田淳一・青木陽介・(東大地震研)
 植木真人(東北大予知セ)・大島弘光・前川徳光(北大地震火山セ)・寺石眞弘(京大防災研)
- 15:45 A22-10 地震間・地震時・地震後の応答から見る東北日本島弧の変形特性
 °鷺谷 威・小澤和浩(名大環境)・歪み集中帯 GPS 観測グループ
- 16:00 A22-11 2011年3月11日東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動とその地学的意義
 °加藤照之・青木陽介・福田淳一(東大地震研)
- 16:15 A22-12 2011年東北地方太平洋沖地震の小さく強いアスペリティ
 °生田領野・里村幹夫・藤田明男(静岡大)・島田誠一(防災科研)
- 16:30 A22-13 2011年4月11日いわき地震(Mw=6.6)の地表地震断層と断層モデル
 °福島 洋・高田陽一郎・橋本 学・遠田晋次・堤 浩之(京大防災研)
- 16:45 A22-14 2011年東北地方太平洋沖地震に誘発された火山性地殻変動
 °高田陽一郎・福島 洋(京大防災研)

10月13日(木) 13:15~17:00 B会場

2011年東北地方太平洋沖地震(強震動・地震災害、その他)

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 川辺秀憲・功刀 卓・堀内茂木・司 宏俊

- 13:15 B22-01 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の K-NET・KiK-net 強震記録
 °功刀 卓・鈴木 亘・青井 真・中村洋光・ネルソン プリード・森川信之・藤原広行(防災科研)
- 13:30 B22-02 2011年東北地方太平洋沖地震のはじめの30秒における10Hz以上の高周波地震動
 °岩切一宏・干場充之(気象研)
- 13:45 B22-03 2011年東北地方太平洋沖地震による高周波数地震動の放射と伝播
 -サイト増幅特性補正後の高密度強震観測データからの考察-
 °竹本帝人(東大地震研)・古村孝志・前田拓人(東大情報学環)
- 14:00 B22-04 経験的グリーン関数法に基づく2011年東北地方太平洋沖地震の震源モデルの推定と震源パラメータのスケーリング則の考察
 °佐藤智美(清水建設)

- 14 : 15 B22-05 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源モデル
 °川辺秀憲・釜江克宏・上林宏敏 (京大原子炉)
- 14 : 30 B22-06 東北地方太平洋沖地震における大加速度記録の検証
 °入倉孝次郎・倉橋 奨 (愛知工大)
- 14 : 45 B22-07 極大地震動を生成するシナリオ地震：2011 年東北地方太平洋沖地震への適用
 °三宅弘恵・横田裕輔・司 宏俊・瀨瀬一起 (東大地震研)
- 15 : 00 休憩
- 15 : 15 B22-08 超巨大地震への地震動最大値距離減衰式の適用について
 - 2011 年東北地震と海外の超巨大地震の観測データに基づく検討 -
 °司 宏俊・瀨瀬一起・三宅弘恵 (東大地震研)・翠川三郎 (東工大)
- 15 : 30 B22-09 平成 23 年東北地方太平洋沖地震 (Mw=9.0) の強震動記録に基づいた新たな距離減衰式
 °森川信之・藤原広行 (防災科研)
- 15 : 45 B22-10 実時間モニタリングを用いた緊急地震速報の地震動予測手法の構築
 - 広域同時多発余震と震源域の拡がりへの対応 -
 °平場充之 (気象研)
- 16 : 00 B22-11 巨大地震の震度予測、津波警報のための震源域リアルタイム推定
 °堀内茂木・堀内優子 (ホームサイスマメータ)
- 16 : 15 B22-12 2011 年東日本大震災に伴う人間被害の激甚性 (1) 内陸性・海洋性地震群との対比
 °太田 裕 (東濃地震科研)
- 16 : 30 B22-13 2011 年東北地方太平洋沖地震で何故死者が多かったか
 - インタビュー調査に基づく一考察 -
 °石田瑞穂・馬場俊孝 (JAMSTEC)・安藤雅孝 (台湾中央研究院)
- 16 : 45 B22-14 日本の地震学の歴史研究からみた東日本大震災
 °泊 次郎 (東大地震研)

10 月 13 日 (木) 13 : 15 ~ 17 : 00 C 会場

日本の地殻内状態のモデル化を目指して、地震教育・地震学史

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 庄 建倉・武藤 潤・堀 高峰・伊東明彦

日本の地殻内状態のモデル化を目指して

- 13 : 15 C22-01 東北地方太平洋沖地震によって明らかとなった地殻応力・構造の不均質性
 °遠田晋次 (京大防災研)
- 13 : 30 C22-02 東北地方太平洋沖地震の余効変動解析を目指した東北日本弧レオロジー断面
 °武藤 潤 (東北大理)・大園真子 (北大地震火山セ)
- 13 : 45 C22-03 南アフリカ金鉱山の地震発生場における応力・強度拘束の試み
 °小笠原宏 (立命館大)・G.Hofmann・D.Roberts (Anglogold)
 中尾 茂 (鹿児島大)・加藤春實 (明間ボーリング)
- 14 : 00 C22-04 Parkfield における繰り返し微小地震の時空間構造について
 °野村俊一 (総研大)・尾形良彦 (総研大)
- 14 : 15 C22-05 西南日本及び南海地震震源域周辺におけるランダムな速度ゆらぎの三次元構造
 °高橋 努・尾鼻浩一郎・山本揚二郎・仲西理子・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- 14 : 30 C22-06 Long-term probability forecasts based on background seismicity
 °庄 建倉 (統数研)

- 14 : 45 C22-07* 地震の CMT データから推定される日本列島域の 3 次元テクトニック応力場
 °寺川寿子 (名大環境)
- 15 : 00 休憩
- 15 : 15 C22-08 島弧地殻の非弾性変形と内陸地震の発生 : 背景としてのテクトニック応力場
 °松浦充宏 (統数研)・野田朱美 (構造計画)・寺川寿子 (名大環境)・尾形良彦 (統数研)
- 15 : 30 C22-09* 地盤と岩盤の弾塑性変形と破壊が地震研究に与える影響
 °阪口 秀・堀 高峰 (JAMSTEC)・張 鋒 (名工大)
- 15 : 45 総合討論
- 地震教育・地震学史**
- 16 : 00 C22-10 高等学校地学での地震教育
 °美澤綾子 (静岡県立静岡高)
- 16 : 15 C22-11 (公社)日本地震学会主催教員免許状更新講習の講座で求められる教育内容
 °根本泰雄 (桜美林大自然)・上西智紀 (伊豆総合高)・斎藤 誠 (気象庁)
 岩田孝仁 (静岡県危機管理部)・中川和之 (時事通信社)・小山真人 (静大防災総合セ)
 美澤綾子 (静岡高校)・荒井賢一 (栄東高校)・南島正重 (両国高)・宮嶋 敏 (深谷第一高)
 中島 健 (大津清陵高)・伊東明彦 (宇都宮大教育)・数越達也 (神戸高)
- 16 : 30 C22-12 教員サマースクール 2011「地震・火山を学校でどう教えるか」の実施と教員免許状更新講習の開設
 °数越達也 (神戸高)・斎藤 誠 (気象庁)・小山真人 (静岡大防災総合セ)
 岩田孝仁 (静岡県危機管理部)・中川和之 (時事通信社)・上西智紀 (伊豆総合高)
 伊東明彦 (宇都宮大教育)・根本泰雄 (桜美林大自然)・荒井賢一 (栄東高)
 中島 健 (大津清陵高)・美澤綾子 (静岡高)・南島正重 (両国高)
- 16 : 45 C22-13 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震発生時の学校の対応に関する調査
 °伊東明彦 (宇都宮大教育)・根本泰雄 (桜美林大自然)・大木聖子 (東大地震研)
 数越達也 (兵庫県立神戸高)・真下典久 (足利市立東山小)

10 月 13 日 (木) 13 : 15 ~ 17 : 00 D 会場

津波, 地震計測・処理システム

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 大木聖子・上野俊洋・綿田辰吾・植平賢司

津波

- 13 : 15 D22-01 Assessing historical tsunamis in the northwestern Indian Ocean
 ° Mohammad Heidarzadeh (ERI, Univ. Tokyo; Faculty of Civil and Environmental Engineering, Tarbiat Modares University, Tehran, Iran), Kenji Satake (ERI, Univ. Tokyo)
- 13 : 30 D22-02 明応東海地震 (1498) による駿河湾沿岸での津波高
 °都司嘉宣 (東大地震研)
- 13 : 45 D22-03 津波波形インバージョンによる 2003 年十勝沖地震時の海底変動
 °上野俊洋・佐竹健治 (東大地震研)・行谷佑一 (産総研)・酒井慎一
 篠原雅尚・金沢敏彦 (東大地震研)

*は招待講演

- 14 : 00 D22-04 Tsunami Source of the 2010 Mentawai Earthquake, Indonesia, Inferred from Tsunami Field Survey and Waveform Inversion
 °佐竹健治 (東大地震研)・西村裕一・Purna Putra・Aditya Gusman・谷岡勇市郎 (北大)・藤井雄士郎 (建築研)・Haris Sunendar・Hamzah Latief (バンドン工大)・Eko Yulianto (LIPI)
- 14 : 15 D22-05 津波の被害を最小限にするには - 検知から避難まで -
 °木村正彦 (愛知県技術士会)
- 14 : 30 D22-06 津波災害のさらなる軽減に何が重要か
 °浜田信生 (原子力安全基盤機構)
- 14 : 45 D22-07 記録的巨大地震が西日本の住民に及ぼしたリスク認知の逆説的影響
 °大木聖子 (東大地震研)・中谷内一也 (同志社大心理)
- 15 : 00 休憩
- 15 : 15 D22-08 遠地津波走時異常の起源
 °綿田辰吾・佐竹健治 (東大地震研)・藤井雄士郎 (建築研)
- 15 : 30 D22-09 レーザ津波計の圧力変化に対する感度
 °坂田正治 (東大教養)

地震計測・処理システム

- 15 : 45 D22-10 高機能な海底地震計用データレコーダーの開発
 °塩原 肇・篠原雅尚・一瀬建日 (東大地震研)・佐藤峰司・池田敏晴・奥村重厚 (白山工業)・岩崎 慎 (テクノマイスター)
- 16 : 00 D22-11 南海トラフ地震発生帯海底孔内観測所へ設置した孔内体積歪計の性能評価
 °北田数也・荒木英一郎・木村俊則・木下正高 (JAMSTEC)
- 16 : 15 D22-12 極限環境での観測をめざしたレーザ干渉式広帯域地震計の開発 I I
 °新谷昌人・堀 輝人・西川泰弘 (東大地震研)・小林直樹・白石浩章 (JAXA 宇宙研)・鹿熊英昭 (地震予知振興会)
- 16 : 30 D22-13 WIN システムの IPv6 通信への対応
 °植平賢司 (九大理院)・卜部 卓・鶴岡 弘・中川茂樹 (東大地震研)
- 16 : 45 D22-14 計測震度の即時的評価
 °横田 崇 (気象研)・増田 徹 (東大地震研)・山口耕作 (シグネット)

10月14日 (金) 8:45 ~ 11:45 A会場

2011年東北地方太平洋沖地震 (津波)

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 馬場俊孝・対馬弘晃・前田拓人・行谷佑一

- 8 : 45 A31-01 津波警報の改善の方向性について
 °尾崎友亮・永岡利彦・桑山辰夫・中田健嗣・川崎 孝・久保剛太 (気象庁)
- 9 : 00 A31-02 南米・ガラパゴス諸島における東北地方太平洋沖地震津波の被害と避難行動について
 °入江さやか (NHK 報道局)
- 9 : 15 A31-03 2011年東北地方太平洋沖地震津波の規模
 °羽鳥徳太郎
- 9 : 30 A31-04 近地津波予測アルゴリズム tFISH による 2011年東北地方太平洋沖地震の津波予測
 °対馬弘晃・林 豊・平田賢治・前田憲二 (気象研)・日野亮太・小林竜也・太田雄策・飯沼卓史 (東北大理)・馬場俊孝 (JAMSTEC)・谷岡勇市郎 (北大理)・酒井慎一・篠原雅尚・金沢敏彦 (東大地震研)

- 9 : 45 A31-05 tFISH の即時解を用いた 2011 年東北地方太平洋沖地震の津波浸水シミュレーション
 °馬場俊孝 (JAMSTEC)・対馬弘晃 (気象研)
- 10 : 00 A31-06 RTK-GPS データによる震源断層モデル即時決定 - 近地津波予測の高精度化に向けて -
 °小林竜也・太田雄策 (東北大理)・三浦 哲 (東大地震研)・対馬弘晃 (気象研)
 日野亮太 (東北大理)・高須知二 (東京海洋大)・藤本博己 (東北大理)
- 10 : 15 休憩
- 10 : 30 A31-07 2011 年東北地方太平洋沖地震・1896 年明治三陸地震の津波高分布と断層モデルの再検討
 °原田智也・佐竹健治・都司嘉宣・西山昭仁・石辺岳男 (東大地震研)
- 10 : 45 A31-08 津波シミュレーションを用いた震源インバージョン結果の検証
 - 2011 年東北地方太平洋沖地震の場合 -
 °ペトヒン アナトリ・吉田邦一・宮腰 研 (地盤研究財団)・入倉孝次郎 (愛知工大)
- 11 : 00 A31-09 西暦 869 年貞観地震と 2011 年東北地方太平洋沖地震の波源モデルの比較
 °行谷佑一 (産総研)・佐竹健治 (東大地震研)・藤井雄士郎 (建築研)・山木 滋 (シーマス)
- 11 : 15 A31-10 2011 年東北地方太平洋沖地震の強震動・海中音波・地殻変動・津波の統一的シミュレーション
 °前田拓人・古村孝志 (東大情報学環・地震研)・野口科子 (電中研)・武村俊介 (東大地震研)
 岩井一央 (東大情報学環)・Shiann-Jong Lee (台湾中央研究院)・酒井慎一・篠原雅尚 (東大地震研)
- 11 : 30 A31-11 DART 津波記録から抽出した 2011 年東北地方太平洋沖地震津波の卓越周期
 °阿部邦昭 (日歯大新潟短大)

10 月 14 日 (金) 8 : 45 ~ 12 : 00 B 会場

2011 年東北地方太平洋沖地震 (地震活動, 活断層・歴史地震, その他)

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 尾鼻浩一郎・篠原雅尚・大見士朗・飯高 隆

- 8 : 45 B31-01 東北地方太平洋沖地震：余震、連鎖地震、前震活動および前駆的静穏化について
 °尾形良彦 (統数研)
- 9 : 00 B31-02 海底地震計を用いた平成 23 年東北地方太平洋沖地震の余震観測
 °篠原雅尚・山田知朗・町田祐弥・中東和夫・望月公廣・塩原 肇・一瀬建日・真保 敬
 岩崎貴哉・小原一成・平田 直 (東大地震研)・村井芳夫・勝俣 啓・東 龍介 (北大)
 日野亮太・伊藤喜宏・鈴木健介・藤本博己・木戸元之・長田幸仁 (東北大)
 佐藤利典 (千葉大)・植平賢司 (九大)・八木原寛・宮町宏樹 (鹿児島大)・小平秀一
 高橋成実・尾鼻浩一郎・金田義行 (JAMSTEC)・平田賢治・対馬弘晃・勝間田明男
 横田 崇 (気象研)・山崎 明・小池哲治・阿部正雄・平松秀行 (気象庁)
- 9 : 15 B31-03 海底地震観測による 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源近傍の地震活動
 °鈴木健介・日野亮太・伊藤喜宏・鈴木秀市・稲津大祐・飯沼卓史
 藤本博己 (東北大理)・篠原雅尚 (東大地震研)・金田義行 (JAMSTEC)
- 9 : 30 B31-04 2011 年 3 月東北地方太平洋沖地震に伴う海溝海側斜面の余震活動
 °尾鼻浩一郎・高橋 努・山本揚二郎・藤江 剛・中村恭之・高橋成実・小平秀一
 金田義行 (JAMSTEC)・篠原雅尚 (東大地震研)・村井芳夫 (北大)・日野亮太 (東北大)
 佐藤利典 (千葉大)・植平賢司 (九大)・八木原寛 (鹿児島大学)・平田賢治 (気象研)
- 9 : 45 B31-05 2011 年東北地方太平洋沖地震による静的応力変化と余震の空間分布の関係
 °佐藤魂夫・平塚晋也 (弘前大理工)
- 10 : 00 B31-06 2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う応力変化と東北日本内陸における誘発地震活動
 °吉田圭佑・長谷川昭・岡田知己・飯沼卓史・伊藤喜宏 (東北大)・浅野陽一 (防災科研)

- 10 : 15 休憩
- 10 : 30 B31-07 Temporal variations in coda attenuation associated with the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku, Japan (Mw9) Earthquake
° Simanchal Padhy, S., Takemura, T. Takemoto, T. Maeda and T. Furumura (ERI, Univ. of Tokyo)
- 10 : 45 B31-08 茨城県北部地域で観測された東北地方太平洋沖地震前後の S 波偏向異方性の変化
° 飯高 隆・小原一成 (東大地震研)
- 11 : 00 B31-09 東北地方太平洋沖地震後に活発化した飛騨山脈脊梁部の地震活動について
° 大見士朗・和田博夫・濱田勇輝・高田陽一郎 (京大防災研)
- 11 : 15 B31-10 2011 年東北地方太平洋沖地震とその最大余震に誘発された西南日本の非火山性微動
° B. Enescu (防災科研)・K. Chao (GATECH, US)・K. Obara (東大地震研)
Z. Peng (GATECH, US)・S. Tanaka・T. Takeda (防災科研)
- 11 : 30 B31-11 東北地方アウターライズ地震の震源域と断層面
- 1933 年昭和三陸地震と 2011 年東北地方太平洋沖地震 -
° 古川信雄 (建築研)
- 11 : 45 B31-12 地震に伴う異方性の時間変化検出の試み：茨城-福島県境地域について
° 石瀬素子・西田 究 (東大地震研)

10 月 14 日 (金) 8 : 45 ~ 12 : 00 C 会場

プレート境界のモニタリング研究を地震予測につなげるために

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 小原一成・土井恵治・小泉尚嗣

- 8 : 45 趣旨説明
° 小泉尚嗣 (産総研)
- 9 : 00 C31-01* 深部微動は確率的地震予測に役立つか？
° 井出 哲 (東大理)
- 9 : 15 C31-02* スロー地震モニタリングは巨大地震予測に有効か？
° 小原一成 (東大地震研)
- 9 : 30 C31-03 GPS の観測結果と歴史史料-東日本大震災でなぜ役立たなかったか？
° 武村雅之 (小堀鐸二研究所)
- 9 : 45 C31-04 測地的に推定されたプレート間カップリングと東北地方太平洋沖地震により明らかになった課題
° 西村卓也 (国土地理院)
- 10 : 00 C31-05 歪・傾斜統合解析による短期的 SSE 断層モデルの推定
° 板場智史・松本則夫・北川有一・小泉尚嗣 (産総研)・木村武志・木村尚紀
廣瀬 仁 (防災科研)・針生義勝 (地震予知総合研究振興会)
- 10 : 15 休憩
- 10 : 30 C31-06* 東海地震予知の立場から見たプレート境界のモニタリング研究
° 土井恵治 (気象庁)
- 10 : 45 C31-07 プレート境界すべりを対象とした実データ同化に向けた課題
° 堀 高峰 (JAMSTEC)・宮崎真一 (京大理)
兵藤 守・中田令子・有吉慶介・野田博之 (JAMSTEC)

*は招待講演

- 11:00 C31-08 プレート境界のカップリングの空間変化に関連した地殻の異方性構造
 °雑賀 敦 (東濃地震科研)・加藤愛太郎・酒井慎一・岩崎貴哉・平田 直 (東大地震研)
- 11:15 C31-09 地震学の信号抽出問題に対する状態空間アプローチ
 北川源四郎 (情報システム機構)・高波鐵夫 (東大地震研)・松本則夫 (産総研)
- 11:30 総合討論

10月14日(金) 8:45 ~ 12:00 D会場

地震に伴う諸現象, 地震予知, 地球化学・地下水
 (講演時間 12分・質疑応答 3分)
 座長 筒井 稔・長尾年恭・梅田康弘・佃 為成

地震に伴う諸現象

- 8:45 D31-01 地震に係る電磁波異常の原理予想と観測ネット
 °國廣秀光 (JYAN研究会)
- 9:00 D31-02 地中で上昇伝搬する電磁波パルスの確認と地殻活動との関係調査
 °筒井 稔・神谷宗利・中谷太環 (京産大)

地震予知

- 9:15 D31-03 RTM法による地震活動度評価法 - 方法の紹介と将来の自動処理化へ向けて -
 °長尾年恭・古瀬慶博・竹内昭洋 (東海大予知セ)
- 9:30 D31-04 世界の地震発生日と惑星間磁場南向き成分との関係に係る統計分析
 °市橋正生 (宇宙航空研開機構)
- 9:45 D31-05 2011東北地方太平洋沖地震前の電界異常
 °高橋耕三 (元通信総研)・Matveev Igoe (IPE RAS)
- 10:00 D31-06 2011/3/11 三陸沖 M9.0 植物生体電位にて観測された前兆
 °斉藤好晴 (神奈川工科大、環境防災研究会)・矢田直之 (神奈川工科大)
 鳥山英雄 (東京女子大)・長野淳也 (東京エレクトロニクスシステムズ)
- 10:15 休憩
- 10:30 D31-07 東海および南紀地域における長期的地下水変動
 °佃 為成 (日本女子大)
- 10:45 D31-08 1946年南海地震前の四国太平洋沿岸の上下変動(3)
 °梅田康弘・板場智史 (産総研活断層セ)
- 11:00 D31-09 昭和南海地震直前の異常潮位について
 °中村不二夫 (海里マリン病院)
- 11:15 D31-10 歴史資料に基づく地震予測
 °山本武美 (東建ジオテック)
- 11:30 D31-11 南海トラフでの巨大地震の発生記録に見られる地球潮汐の影響
 °末 芳樹

地球化学・地下水

- 11:45 D31-12 地下水ラドン濃度と帯水層の透水係数の同時連続測定について
 °角森史昭 (東大理地殻化学)

10月14日(金) 13:00～14:30 A会場

2011年東北地方太平洋沖地震(津波)

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 古村孝志・市原 寛

- 13:00 A32-01 北西太平洋海盆で観測された東北地方太平洋沖地震津波による海洋ダイナモ効果
°南 拓人(京大理)・藤 浩明(京大地磁気セ)・浜野洋三・杉岡裕子
多田訓子(JAMSTEC)・館畑秀衛(気象庁)・穂積裕太(京大理)
- 13:15 A32-02 父島で観測された2011年東北地方太平洋沖地震津波による磁場変動の数値モデルを用いた定量的解析
°館畑秀衛(気象庁)・浜野洋三(JAMSTEC)
- 13:30 A32-03 海底電磁気データによる2011年東北地方太平洋沖地震の津波波源の推定
°市原 寛・浜野洋三(JAMSTEC)・馬場聖至(東大地震研)・笠谷貴史(JAMSTEC)
- 13:45 A32-04 東北地方太平洋沖地震津波の遡上域における侵食・堆積の特徴
°西村裕一・中村有吾・Purna Sulastya Putra(北大地震火山セ)・Eko Yulianto(LIPI)
- 14:00 A32-05 過去6000年間の三陸超巨大古津波履歴を示す二つの露頭
°平川一臣(北大)・吉岡祥一(神戸大)・中村 衛(琉球大)・西川由香(台湾大)
- 14:15 A32-06 東北地方太平洋沖地震から考える南海トラフ地震「4連動」シナリオ
°古村孝志・前田拓人(東大情報学環/地震研)

10月14日(金) 14:45～16:15 A会場

2011年東北地方太平洋沖地震(地震予知)

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 森谷武男・吉川澄夫

- 14:45 A32-07 平成23年東北地方太平洋沖地震前の地震活動静穏化現象
°吉川澄夫(地磁気観測所)
- 15:00 A32-08 陸域プレート内地震の臨海的活発化と2011年東北地方太平洋沖地震M9.0
°野口伸一(防災科研)
- 15:15 A32-09 東北地方太平洋沖地震(Mw=9.0)前の大気中ラドン濃度変動について
長濱裕幸(東北大)・°安岡由美(神戸薬大)・鈴木俊幸・本間 好(福島県医大)
- 15:30 A32-10 長期間の地震エコー(地震の前に起こる異常伝播)監視による近未来の大地震予報
°森谷武男・茂木 透(北大地震火山セ)
- 15:45 A32-11 東北巨大地震の予兆的な地殻変動と地震活動
°武田文秀(TEC21)
- 16:00 A32-12 M9-先行した規則微動・どこまで予測し最後にどう間違ったか
°今津美智子(無所属:地震くるみる)

10月14日(金) 13:00～16:30 B会場

地震発生の物理

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 安藤亮輔・弘瀬冬樹・上西幸司・鈴木岳人

- 13:00 B32-01 四国沈み込み境界の遷移領域における2種類のスロースリップと2種類のアンティゴライト蛇紋岩
°水上知行・横山寛紀・平松良浩・荒井章司(金沢大地球)
- 13:15 B32-02 南海トラフ沿い巨大地震の複雑なパターンの再現
°弘瀬冬樹・前田憲二(気象研)
- 13:30 B32-03 西日本における深部微動のすべり分布の推定
°太田和晃・井出 哲(東大理)
- 13:45 B32-04 深部低周波微動活動カタログの細密化に向けてー微動活動の小セグメントー
°武田直人・今西和俊・安藤亮輔(産総研活断層セ)
- 14:00 B32-05 スロースリップ・微動の伝播とセグメンテーション:観測と理論
°安藤亮輔・武田直人(産総研活断層セ)
- 14:15 B32-06 スロースリップに対する透水係数の異方性の効果
°山下輝夫(東大地震研)
- 14:30 休憩
- 14:45 B32-07 空隙が準高速すべり時の岩石摩擦を強化する
°福山英一・山下 太(防災科研)・溝口一生(電中研)
- 15:00 B32-08 動的地震破壊に伴って生成する微小亀裂の向きと二次破壊への影響
°鈴木岳人(東大理)
- 15:15 B32-09 広帯域連続集録から得られたAEのコーナー周波数と地震モーメントの関係
°吉光奈奈・川方裕則(立命館大)・高橋直樹(三井住友建設)
- 15:30 B32-10 地震のシミュレーションでみるエネルギー放射率と破壊伝播速度の関係
°野田博之(JAMSTEC)・Nadia Lapusta・金森博雄(Caltech)
- 15:45 B32-11 メカニズム解から推測される日本海沿岸の地震帯における応力場
°小川拓哉・飯尾能久(京大防災研)
- 16:00 B32-12 2011年駿河湾で起こった地震における初期段階の震源過程
°後藤史紀・竹中博士(九州大)・中村武史(JAMSTEC)
- 16:15 B32-13 Simulation of Fundamental Rupture Dynamics in Inhomogeneous Materials Based on a Particle Method
° Koji Uenishi (RCUSS, Kobe Univ.)

10月14日(金) 13:00～16:30 C会場

地震一般・その他, 地盤構造・地盤震動

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 飯田昌弘・西田 究・山田伸之・神田克久

地震一般・その他

- 13:00 C32-01 地震動のフーリエスペクトルと位相差分スペクトル
°西澤 勝

- 13 : 15 C32-02 庄内平野で観測された奇妙な超低周波微動活動
 °西田 究 (東大地震研)・汐見勝彦 (防災科研)
- 13 : 30 C32-03 DONET で観測された熊野灘における水圧波微動
 °中野 優・中村武史・金田義行 (JAMSTEC)
- 13 : 45 C32-04 地震波動場の3次元同時・自動可視化システムの開発
 °岩井一央・古村孝志・前田拓人 (東大総防情研セ)・武村俊介 (東大地震研)
- 地盤構造・地盤震動**
- 14 : 00 C32-05 入力波動場に基づく3次元非線形地盤応答解析法 (3)
 °飯田昌弘 (東大地震研)
- 14 : 15 C32-06 PALSAR と TerraSAR-X で捉えた京都盆地・大阪平野の地盤変動
 °橋本 学 (京大防災研)
- 14 : 30 休憩
- 14 : 45 C32-07 非定常波線分解法に基づく横浜市域の速度不連続構造の推定
 °高岸万紀子・木下繁夫 (横浜市大)
- 15 : 00 C32-08 波数積分法を用いた数値シミュレーションによる二重スペクトル比の手法の検討
 °野田朱美・司 宏俊 (構造計画研究所)・徳光亮一 (東京電力)
- 15 : 15 C32-09 不均質・不整形地盤の地震応答解析と見かけの等価地盤物性
 °神田克久・加藤研一 (小堀鐸二研)・徳光亮一 (東京電力)
- 15 : 30 C32-10 3000m 大深度 PS 検層に基づく岩盤の S 波減衰特性の評価
 °小林源裕・儘田 豊・堤 英明 (原子力安全基盤機構)
 信岡 大・江波戸昌徳・阿部恒平 (応用地質)
- 15 : 45 C32-11 高知市における 125m メッシュの浅層地盤モデルの構築
 °大堀道広・チタクセチキン・中村武史 (JAMSTEC)・坂上 実・武村俊介・古村孝志
 竹本帝人・岩井一央 (東京大学)・久保篤規・川谷和夫・田嶋佐和 (高知大学)
 高橋成実・金田義行 (JAMSTEC)
- 16 : 00 C32-12 喜界島における微動探査-島の地震動評価のために-
 °山田伸之 (福岡教育大)・竹中博士・奥平良太 (九州大)
- 16 : 15 C32-13 首都圏の周期 2 ~ 4 秒のサイト特性を用いた三次元地下構造のモデル化
 °早川 崇 (清水建設)

10月14日 (金) 13:00 ~ 16:30 D会場

地殻変動・GPS・重力

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 木村武志・水藤 尚・石川直史・渡部 豪

- 13 : 00 D32-01 Importance of poroelastic and viscoelastic responses in measuring afterslip distribution : application to the 12 September 2007 southern Sumatra earthquake
 Ashar Muda Lubis (EOS,NTU)・Akinori Hashima・° Toshinori Sato (Chiba Univ.)
- 13 : 15 D32-02 岩手宮城内陸地震に伴う地殻変動データに基づく非平面断層モデルの推定
 °阿部隆博・古屋正人 (北大理)・高田陽一郎 (京大防災研)
- 13 : 30 D32-03 GEONET による日本列島周辺のプレート境界面上の断層すべりの検知能力
 °水藤 尚 (国土地理院)

- 13:45 D32-04 GEONET データによる西南日本の固着分布と短期的スロースリップの連続モニタリング
 °藤田明男・生田領野・里村幹夫(静大理)・島田誠一(防災科研)・加藤照之(東大地震研)
- 14:00 D32-05 津安濃観測点の地下水圧変化による三重県北部および中部での短期的 SSE の検出
 °北川有一・松本則夫・小泉尚嗣(産総研活断層セ)
- 14:15 D32-06 ABIC による平滑化を用いた水準測量から見た房総半島沖スロースリップによる上下変動
 °山下香里・佐藤利典(千葉大理)
- 14:30 休憩
- 14:45 D32-07 西南日本外帯の地殻変動:プレート間固着とブロック運動
 °一谷祥瑞・田部井隆雄(高知大理)
- 15:00 D32-08 中央構造線の深部構造と運動様式 -西南日本の地殻活動を読み解く-
 °田部井隆雄・久保篤規・一谷祥瑞(高知大理)
- 15:15 D32-09 陸域 GPS 観測網と海底地殻変動観測より推定される南海トラフのすべり欠損速度
 °渡部 豪・田所敬一(名大環境)・生田領野(静岡大)
 永井 悟・奥田 隆(名大環境)・久野正博(三重県水産研)
- 15:30 D32-10 東南海地震の想定震源域における海底地殻変動モニタリング
 °田所敬一(名大環境)・生田領野(静岡大)・渡部 豪・永井 悟・奥田 隆(名大環境)
- 15:45 D32-11 海底地殻変動観測の精度向上に向けた音響測距データ解析
 °永井 悟・江藤周平・坂田 剛・田所敬一・渡辺 豪
 安田健二(名大環境)・生田領野(静岡大理)
- 16:00 D32-12 南海トラフにおける海底地殻変動と重心推定法による結果の検証
 °石川直史・佐藤まりこ・氏原直人・吉田 茂
 渡邊俊一(海上保安庁)・望月将志・浅田 昭(東大生産研)
- 16:15 D32-13 海底地殻変動観測用音響トランスデューサの違いがもたらす計測への影響
 °望月将志(東大生産研)・石川直史・佐藤まりこ・氏原直人
 吉田 茂・渡邊俊一(海上保安庁)・浅田 昭(東大生産研)

10月12日(水) 17:00~18:30 ポスター会場

ポスターセッション (P1-01~P1-79)

2011年東北地方太平洋沖地震(地震発生の物理・震源過程, テクトニクス, 地殻構造)

- P1-01 繰り返し地震データから推定した2011年東北地方太平洋沖地震前後の準静的すべり
 °内田直希・松澤 暢(東北大理)
- P1-02 東北地方太平洋沖地震の2日前に東北沖で起きたMw7.2地震の震源過程とその後2日間の地震活動
 °山田卓司(北大地震火山セ)
- P1-03 2011年東北地方太平洋沖地震の前震及び余震の高周波震動継続時間と最大変位振幅
 °原 辰彦(建築研)
- P1-04 飛騨地方における東北地方太平洋沖地震のP波による動的誘発地震
 °内出崇彦(京大防災研・UCSD)
- P1-05 MeSO-netのデータから明らかになった2011年東北地方太平洋沖地震の広帯域破壊伝播イメージ(2)
 °本多 亮・行竹洋平・原田昌武・伊東 博・明田川保・吉田明夫(温地研)
 酒井慎一・中川茂樹・平田 直・小原一成(東大地震研)・木村尚紀・松原 誠(防災科研)
- P1-06 Rupture details of the 2011 Mw 9.0 Tohoku earthquake
 °Dun Wang (DPRI, Kyoto Univ.), Jim Mori (DPRI, Kyoto Univ.)

- P1-07 2011年東北地方太平洋沖地震の前震・本震の力学的考察
 °安藤亮輔 (産総研活断層セ)
- P1-08 東北地方太平洋沖地震の動的破壊シミュレーション - 数十秒あけて発生する隣接した破壊の再現 -
 °後藤浩之 (京大防災研)・山本揚二郎 (JAMSTEC)・北佐枝子 (東北大理)
- P1-09 浅い逆断層地震における断層の複雑さと動的破壊伝播: 2011年東北沖地震の破壊過程の理解に向けて
 Sebastien Hok・°福山英一 (防災科研)
- P1-10 2011年東北地方太平洋沖地震の震源過程
 °久保久彦・笥 楽磨 (神戸大理)
- P1-11 高密度強震観測網を用いた2011年東北地方太平洋沖地震のセンブルス解析
 °久保久彦・笥 楽磨 (神戸大理)
- P1-12 東北地方太平洋沖地震の際に沈み込むスラブにトラップされた散乱波
 °プリード ネルソン・熊谷博之・福山英一・青井 真 (防災科研)
- P1-13 2011年東北地方太平洋沖地震発生サイクルモデルの準動的シミュレーションによる比較検証
 °大谷真紀子・平原和朗 (京大理)・堀 高峰・兵藤 守 (JAMSTEC)
- P1-14 海底地殻変動データから推定される東北地方太平洋沖地震前の固着状態
 °飯尾能久 (京大防災研)・松澤 暢 (東北大理)・佐藤まりこ (海上保安庁)
- P1-15 2011年東北地方太平洋沖地震に伴う茨城県と福島県の県境付近の応力場の変化のシミュレーション
 °平塚晋也・佐藤魂夫 (弘前大理工)
- P1-16 東北地方太平洋沖地震 (M9.0) による神奈川県およびその周辺の想定断層面への影響
 °原田昌武・本多 亮・行竹洋平・明田川保・伊東 博・板寺一洋・吉田明夫 (温地研)
- P1-17 日本海溝海側で観測される高熱流量 - 太平洋プレート上層部の温度構造異常 -
 °山野 誠 (東大地震研)・濱元栄起 (埼玉環境科学セ)・後藤秀作 (産総研)
 川田佳史 (東大地震研)・川村喜一郎 (深田地質研)
- P1-18 沈み込む前後の地殻で起こる熱水循環の数値計算: 日本海溝海側の高熱流量異常への応用
 °川田佳史・山野 誠 (東大地震研)・島 伸和 (神戸大理)
- P1-19 2011年東北地方太平洋沖地震前後の海底地形調査から明らかになった海底変動
 °富士原敏也・小平秀一・野 徹雄・海宝由佳・藤江 剛・中村恭之・高橋 努
 山本揚二郎・高橋成実・木戸ゆかり・金田義行 (JAMSTEC)
- P1-20 東北地方太平洋沖地震前後の反射法地震探査データを用いた構造変化の抽出
 °野 徹雄・中村恭之 (JAMSTEC)・辻 健 (京大)・朴 進午 (東大大気海洋研)・海宝由佳
 藤江 剛・山下幹也 (JAMSTEC)・瀧澤 薫 (日海事)・高橋成実・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- P1-21 反射法探査から見た東北地方太平洋沖地震震源域における地下構造の特徴
 °中村恭之・野 徹雄・藤江 剛・海宝由佳・佐藤 壮・山下幹也・三浦誠一・高橋成実
 小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)・朴 進午 (東大大気海洋研)・Gregory Moore (ハワイ大学)
- P1-22 東北地方太平洋沖地震の海溝海側余震域における散乱減衰と内部減衰の空間変化
 °高橋 努・尾鼻浩一郎・山本揚二郎・藤江 剛・中村恭之・高橋成実・小平秀一
 金田義行 (JAMSTEC)・篠原雅尚 (東大地震研)・村井芳夫 (北大)・日野亮太 (東北大)
 佐藤利典 (千葉大)・植平賢司 (九大)・八木原寛 (鹿児島大)・平田賢治 (気象研)
- P1-23 KiK-net を用いた2011年東北地方太平洋沖地震に伴う地震波速度と偏向異方性の時間変化
 °高木涼太・岡田知己 (東北大理予知セ)

地殻構造

- P1-24 2008年岩手・宮城内陸地震震源域付近で発生した余震のP波初動到来方向の異常
 °土井一生・川方裕則 (立命館大理工)
- P1-25 Velocity structure-based separation of intrinsic and scattering seismic attenuation in southeastern Korea
 ° Chung, Tae Woong (Sejong Univ, Korea), Yoshimoto, Kazuo (Yokohama-city Univ)

- P1-26 東北地方の火山フロント東側に並ぶ地震波反射面－小アレイによる観測－
 °長谷見晶子・佐々木彩香・大槻 陽（山形大理）・堀内茂木（ホームサイスマ）
 中島淳一・海野徳仁（東北大理）
- P1-27 新潟中越地域東部の地質構造と震源断層の形状
 °加藤直子・佐藤比呂志・石山達也（東大地震研）・斉藤秀雄・阿部 進（地科研）
 越谷 信（岩手大）・戸田 茂（愛教大）・稲葉 充（石油資源開発）
- P1-28 重力異常に基づく 2007 年能登半島地震震源域周辺の基盤構造
 °水林 侑・澤田明宏・浜田昌明・平松良浩（金沢大）・本多 亮（北大）
- P1-29 濃尾合同観測地域における地殻の S 波スプリッティング
 °平松良浩・寺田 正（金沢大）・飯高 隆（東大地震研）・濃尾合同観測グループ
- P1-30 濃尾断層帯周辺における地震波干渉法から得られた減衰率の推定
 °辻 清根・平松良浩（金沢大）・濃尾合同観測グループ
- P1-31 重合前マイグレーション適用による房総半島沖前弧域の地殻構造イメージング
 °山下幹也・三浦誠一・高橋成実・小平秀一（JAMSTEC）・中東和夫（東大地震研）
- P1-32 関東盆地直下の沈み込み帯の P 波減衰構造
 °パナヨトプロスヤニス・酒井慎一・中川茂樹・笠原敬司・平田 直（東大地震研）
 明田川保（温地研）・木村尚紀（防災科研）
- P1-33 S-wavevector レシーバ関数解析による関東平野のフィリピン海スラブ・太平洋スラブの形状
 °村越 匠（防衛大）・竹中博士（九大）
- P1-34 首都圏北東部の制御震源地殻構造調査
 °中川茂樹・蔵下英司・パナヨトプロス ヤニス・楠城一嘉
 酒井慎一・小寺祐貴・笠原敬司・平田 直（東大地震研）
- P1-35 弾性波アクロスによる土岐－森町－牧之原測線下の地殻構造の推定
 °國友孝洋（静大理）・吉田康宏・勝間田明男（気象研）・山岡耕春・渡辺俊樹（名大）
 加藤愛太郎・飯高 隆（東大地震研）・生田領野（静大理）・勝俣 啓（北大理）・岩崎貴哉
 酒井慎一（東大地震研）・山崎文人（名大）・津村紀子・野崎謙治・高橋福助（千葉大）
 大久保慎人・鈴木貞臣（東濃地震科研）・平田 直（東大地震研）
- P1-36 稠密観測による近畿地方北部の地殻構造
 °片尾 浩・三浦 勉・米田 格・澤田麻沙代・中尾愛子・近藤和男・青木裕晃・飯尾能久（京大防災研）
- P1-37 紀伊半島の地震波速度構造（2）
 °福居大志・澁谷拓郎（京大防災研）・平原和朗（京大理）・中尾節郎・西村和浩・澤田麻沙代（京大防災研）
- P1-38 南海地震震源域西部の地震学的構造
 °山本揚二郎・尾鼻浩一郎・高橋 努・仲西理子・小平秀一・金田義行（JAMSTEC）
- P1-39 西日本を伝播する P・S 波の特徴と沈み込むフィリピン海プレートの形状
 °久家慶子（京大理）
- P1-40 南部琉球弧における 3 次元速度構造と繰り返しスロースリップイベントとの関連
 °中村 衛（琉球大理）
- P1-41 オントンジャワ海台の深部構造
 °三浦誠一・野口直人・小平秀一・深尾良夫（JAMSTEC）・コフィン－ミラード（タスマニア大）
 カワグル－サイモン（パプアニューギニア大）・ヴェラヴ－ロナルド（パプアニューギニア鉱物資源庁）
- P1-42 ニューゼaland北島南方ヒ克蘭ギ沈み込み帯固着領域内 SAHKE 構造調査測線における地震波速度構造
 °望月公廣・山田知朗・篠原雅尚・岩崎貴哉・佐藤比呂志（東大地震研）
 Stuart Henrys・Rupert Sutherland（GNS Science）
- P1-43 交通雑音と自然地震を用いた地震波干渉法
 °伊藤 忍・山口和雄（産総研）

P1-44 地震波干渉法を用いた地殻構造イメージングに関するシミュレーションスタディ
°辻 琢允・渡辺俊樹 (名大環境)

地球及び惑星の深部構造と物性

- P1-45 マントル遷移層における海洋プレートと海洋地殻の三次元的挙動
°吉田晶樹 (JAMSTEC)・田島文子 (LMU ミュンヘン)・本多 了・森重 学 (東大地震研)
- P1-46 マルチモード表面波による豪州及び北米大陸の3次元上部マントル構造の復元
°吉澤和範 (北大理)・B.L.N. Kennett (RSES, ANU)・G. Ekström (LDEO, Columbia Univ.)
- P1-47 応力場での高圧相転移実験と深発地震への応用
°田中一徳・近藤 忠 (阪大理)
- P1-48 九州地方下のマントルウェッジにおけるS波偏向異方性
°寺田 正・平松良浩 (金沢大自然)
- P1-49 不均質地球の緯度に依存する擬固有周波数の定式化の試み
°川崎一郎 (東濃地震科研)
- P1-50 地球自由振動の固有周波数が示す緯度・経度依存性とD”層内におけるdgree-twoの不均質の可能性
°清水宏信・平松良浩 (金沢大自然)・川崎一郎 (東濃地震科研)

岩石実験・地殻応力

- P1-51 跡津川断層系に分布するグラファイト質断層ガウジの摩擦挙動－微小地震と断層クリープ運動への寄与－
°大橋聖和 (千葉大)・廣瀬丈洋 (高知コア研/JAMSTEC)・嶋本利彦 (中国地震局)
- P1-52 最大水平応力の測定を可能にする低コンプライアンス装置の開発(1) 概要
°伊藤久男・加藤和政 (JAMSTEC)・伊藤高敏 (東北大流体科学研)
- P1-53 中央構造線の断層ガウジにおける水－岩石相互作用
°松多範子 (大阪大)・石川剛志 (JAMSTEC)・亀田 純 (東大)
河本和朗 (中央構造線博物館)・西尾嘉朗 (JAMSTEC)・本多 剛・廣野哲朗 (大阪大)
- P1-54 電気伝導度測定によって示される模擬断層の接触状態の定量的評価
°山下 太・福山英一 (防災科研)・溝口一生 (電中研)

地震活動

- P1-55 徳山ダムにおける微小地震観測
°曾田英揮・佐藤信光・中藺孝介 (水資源機構)・三塚 隆 (地質計測)・片尾 浩 (京大防災研)
- P1-56 上町断層帯周辺における微小地震の発震機構解
松下レイケン・°今西和俊 (産総研)
- P1-57 海底地震計記録を用いた地震波干渉法による2005年宮城県沖地震(Mj7.2)に伴う地震波速度変化の検出
°中条恒太・伊藤喜宏・中原 恒・日野亮太 (東北大)・山田知朗・篠原雅尚・金沢敏彦 (東大地震研)
- P1-58 離散的な地震発生確率モデルによる地震間トリガリングの定量化
°栗原義治・井出 哲 (東大理)
- P1-59 地震発生予測検証実験の現状－1日と1年予測実験－
°横井佐代子・楠城一嘉・鶴岡 弘・平田 直 (東大地震研)
- P1-60 石川県南部の2011年の群発地震活動
°平松良浩 (金沢大)
- P1-61 新潟県上越沖における地震活動と地震波速度構造
°町田祐弥・真保 敬・篠原雅尚・山田知朗・望月公廣・金沢敏彦 (東大地震研)
- P1-62 首都圏地震観測網 (MeSO-net)
°笠原敬司・酒井慎一・中川茂樹・楠城一嘉・パナヨトプロス ヤニス・森田裕一・鶴岡 弘・蔵下英司
小原一成・平田 直 (東大地震研)・木村尚紀 (防災科研)・明田川保 (温地研)・伊東明彦 (宇都宮大)
- P1-63 大きい余震の活動の急速な減衰
°津村建四朗 (地震予知振興会)

- P1-64 熊本県北西部(山鹿市付近)における群発地震活動
 °山下 裕亮・松島 健・清水 洋・松本 聡・植平 賢司(九大地震火山セ)
- P1-65 2009年10月30日奄美大島沖の地震の深さと震源メカニズム解
 °小林励司・後藤和彦・中尾 茂(鹿大理工)
- P1-66 南海トラフ周辺での広帯域海底地震計と高精度水圧計を用いた地震観測
 °中東和夫・町田祐弥・一瀬建日・山田知朗・望月公廣・塩原 肇
 篠原雅尚・金沢敏彦(東大地震研)・植平賢司(九大)
- P1-67 南部琉球弧のプレート形状と固着域
 °新城安尚・中村 衛(琉球大理)
- P1-68 北陸域、鳥取域の震源データ 1976-2011
 °竹内文朗・澁谷拓郎・西上欽也・平野憲雄(京大防災研)
 松村一男・大谷文夫(元京大防災研)・岡本拓夫(福井高専)
- P1-69 海陸地震観測網を用いた新潟県周辺における応力場の特徴
 °真保 敬・町田祐弥・篠原雅尚・山田知朗・望月公廣・金沢敏彦(東大地震研)

地球熱学

- P1-70 伊勢湾付近の深部低周波地震の空白域について
 °末永伸明(九州大理)・吉岡祥一(神戸大都市安全セ/理)

テクトニクス

- P1-71 変位の食い違い運動によるプレート沈み込みモデルを用いた関東地方の長期的地殻変動パターンの解明
 °橋間昭徳・佐藤利典(千葉大)・伊藤谷生(帝京平成大)・宮内崇裕(千葉大)

活断層・歴史地震

- P1-72 日本海溝と南海トラフの海底活断層にもとづく地震特性の比較
 °中田 高・後藤秀昭(広島大)・渡辺満久(東洋大)・鈴木康弘(名古屋大)
- P1-73 土佐湾沿岸蟹ヶ池における津波堆積物の堆積様式
 °兒玉昌憲・松岡裕美・岡村 眞(高知大理)
- P1-74 1885年以降の「M7級首都直下地震」の地震像 - 1894年明治東京地震・1895年茨城県南部の地震 -
 °室谷智子・石辺岳男・佐竹健治・島崎邦彦(東大地震研)
- P1-75 1885年以降の「M7級首都直下地震」の地震像 - 1921年茨城県南部の地震・1922年浦賀水道付近の地震 -
 °石辺岳男・佐竹健治・島崎邦彦・室谷智子・西山昭仁(東大地震研)
- P1-76 石狩低地東縁断層帯の地下構造
 °岡田真介・山口和雄・住田達哉・牧野雅彦・横倉隆伸(産総研)
- P1-77 米沢盆地北縁部周辺における新たな活断層の認定
 °水本匡起・田力正好・松田時彦・松浦律子(地震予知振興会)
- P1-78 Co-seismic Riedel shear structures produced by the 2010 Mw 6.9 Yushu earthquake, central Tibetan Plateau, China
 °Gang Rao, Aiming Lin, Bing Yan (Shizuoka Univ.)
- P1-79 基盤岩中の断層傾斜角と堆積層変形ゾーンの規模の関係: 個別要素法に基づく数値シミュレーション
 °楠本成寿(富山大理工)・伊藤康人(大阪府大理)・竹村恵二(京大理)・岩田知孝(京大防災研)

10月13日(木) 17:00 ~ 18:30 ポスター会場

ポスターセッション (P2-01 ~ P2-80)

2011年東北地方太平洋沖地震(地殻変動, 活断層・歴史地震, 強震動・地震災害)

- P2-01 2011 年東北地方太平洋沖地震による長期的な地殻変動の球体地球モデルによる見積り
 °田中愛幸・張 新林・福田淳一・青木陽介・今西祐一・大久保修平（東大地震研）
- P2-02 2011 年東北地方太平洋沖地震発生から約 30 分間の地表変動シグナルの分析
 °三井雄太・日置幸介（北大理）
- P2-03 太平洋沿岸における東北地方太平洋沖地震とその後の上下変動
 °飛田幹男・木村久夫（国土地理院）
- P2-04 東北地方太平洋沖地震の余効変動
 °小沢慎三郎（国土地理院）
- P2-05 2011 年東北地方太平洋沖地震の余効すべりの時空間発展
 °福田淳一・青木陽介・加藤照之（東大地震研）
- P2-06 神岡ボアホールひずみ計で観測された東北地方太平洋沖地震のひずみ地震動とその理論ひずみ記象との比較（序報）
 °加納靖之・柳谷 俊（京大防災研）・川崎一郎
 石井 紘・浅井康広（東濃地震科研）・伊藤久男（JAMSTEC）
- P2-07 岐阜県東濃地域で観測された 2011 年東北地方太平洋沖地震による歪地震動および静的歪ステップに伴う地下水水位変化
 °浅井康広・石井 紘（東濃地震科研）
- P2-08 火山周辺で検出された 2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う局所的な地殻変動
 °小澤 拓・藤田英輔（防災科研）
- P2-09 SAR 干渉解析から得られた東北地方太平洋沖地震後に発生した内陸地震の地殻変動と震源断層モデル
 °小林知勝・飛田幹男（国土地理院）
- P2-10 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源近傍での海底圧力観測
 °稲津大祐・日野亮太・鈴木秀市・長田幸仁・太田雄策・飯沼卓史（東北大）
 対馬弘晃（気象研）・伊藤喜宏・木戸元之・藤本博己（東北大）
- P2-11 宮城県沖における 2011 年東北地方太平洋沖地震後の海底地殻観測
 °長田幸仁・木戸元之・伊藤喜宏・太田雄策・日野亮太・藤本博己（東北大理）
- P2-12 東北地方太平洋沖地震に伴う海溝軸付近での地殻変動の解釈
 °兵藤 守・堀 高峰（JAMSTEC）
- P2-13 東北地方太平洋沖地震時の関東・中部地方における絶対・相対重力変化
 °名和一成・杉原光彦・大谷 竜・北川有一（産総研地調）
- P2-14 東北地方太平洋沖地震に誘発された 2011 年 4 月 11 日 M7.0 いわき地震 —地震断層と活構造—
 °遠田晋次（京大防災研）・堤 浩之（京大理）・小俣雅志・郡谷順英（クレアリア）
- P2-15 余震観測による阿武隈南部の正断層型誘発地震の特徴
 °青柳恭平・上田圭一・佐々木俊法・溝口一生（電中研）
- P2-16 山形盆地断層帯周辺の GPS 観測 - 2011 年東北地方太平洋沖地震前後の地殻変動 -
 °鹿目靖雄・長谷見晶子（山形大理）・出町知嗣・太田雄策
 立花憲司（東北大理）・島田誠一（防災科研）・三浦 哲・加藤照之（東大地震研）
- P2-17 IT 強震計でみた 3.11 の東大キャンパス建物の揺れ
 °鷹野 澄・伊藤貴盛（東大情報学環／地震研）
- P2-18 首都圏およびその周辺地域で観測された 2011 年東北地方太平洋沖地震（Mw 9.0）の地震動分布
 °津野靖士・翠川三郎・山中浩明・三浦弘之（東工大総合理工）・酒井慎一
 平田 直・笠原敬司（東大地震研）・木村尚紀（防災科研）・明田川保（温地研）
- P2-19 2011 年東北地方太平洋沖地震による東京湾岸地域の長周期地震動
 °植竹富一（東京電力）
- P2-20 2011 年東北地方太平洋沖地震の際の石油コンビナート地域における強震動と石油タンクが受けた被害
 °畑山 健・座間信作・西 晴樹（消防研究セ）

- P2-21 Google Earth を用いたつくば市および土浦市周辺における建物の瓦屋根被害の分布
 °岡田真介・坂田健太郎・中村洋介・納谷友規・小松原純子
 田辺 晋・長森英明・中澤 努・小松原琢・水野清秀 (産総研)
- P2-22 震度分布より推定する地震規模
 横田 崇 (気象研)・°甲斐田康弘 (応用地質)
- P2-23 東北地方太平洋沖地震の最初の 30 秒 —Earthquake Early Warning のM推定における振幅と τ_c —
 °干場充之・岩切一宏 (気象研)
- P2-24 東北地方太平洋沖地震の余震記録から推定された震源スペクトル特性
 °儘田 豊・小林源裕・堤 英明 (原子力安全基盤機構)
- P2-25 多重震源シナリオを仮定した 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源過程解析
 °芝 良昭 (電中研)
- P2-26 東北地方太平洋沖地震における震源モデルの検討
 °倉橋 奨・入倉孝次郎 (愛工大)・宮腰 研 (地盤研)
- P2-27 2011 年 4 月 7 日宮城県沖のスラブ内地震の震源のモデル化
 °原田 怜 (京大エネ科)・釜江克宏・川辺秀憲・上林宏敏 (京大原子炉)
- P2-28 2011 年 4 月 11 日福島県浜通りの地震 (Mj7.0) の強震波形による震源過程解析
 °引間和人 (東京電力技開研)
- P2-29 経験的グリーン関数法を用いた 2011 年 4 月 11 日福島県浜通りの地震の震源モデルの構築と強震動シミュレーション
 °染井一寛・宮腰 研 (地盤研究財団)・入倉孝次郎 (愛工大)

強震動・地震災害

- P2-30 2011 年 4 月 11 日福島県浜通りの地震による地表断層近傍の建物被害調査
 °久田嘉章・久保智弘・松澤 佳 (工学院大)・森川 淳 (小堀鐸二研)
- P2-31 2011 年東北地方太平洋沖地震で震度 7 が記録された地域での余震および微動観測
 °山中浩明・津野靖士・地元孝輔・加藤 圭・ヤダブ ダカール (東工大)
 山田伸之 (福岡教育大)・福元俊一・江藤公信 (東京ソイルリサーチ)
- P2-32 A STUDY ON THE SITE AMPLIFICATION FOR OBSERVATION STATIONS IN THE IWATE AND MIYAGI REGIONS
 ° Rami Ibrahim, Kazuki Koketsu, Hiroe Miyake, Hongjun Si (ERI, Univ. Tokyo)
- P2-33 A Case Study on DNL using KiK-Net records due to the 2011 off the pacific coast of Tohoku Earthquake and its aftershocks
 K. K. Swe (Dept. Met. and Hyd., Myanmar), ° T. Yokoi (IISEE, BRI)
- P2-34 Exploration at a liquefied site in Joso City
 K. M. Black (Univ. of West Indies, Mona), ° T. Yokoi (IISEE, BRI)
 H. Nakagawa, H. Suzuki and H. Saito (OYO Corp.)
- P2-35 ニュージーランド南島で発生した 2010 年 Darfield 地震と 2011 年クライストチャーチ地震による被害
 °吉岡 祥一 (神戸大都市安全)・太田 陽子 (国立台湾大)・片岡 香子 (新潟大災害復興)
- P2-36 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震により牧之原市須々木で発生した液状化
 °青島 晃 (磐田南高)・土屋光永 (静岡文化芸術大)
- P2-37 2008 年中国四川地震における半壊レンガ造住宅の S 波伝播速度の評価
 °王 欣・入倉孝次郎・正木和明 (愛工大)
- P2-38 i 地震 MEMS 加速度センサの強震観測性能評価
 °内藤昌平・功刀 卓・中村洋光・藤原広行 (防災科研)・結城 昇 (白山工業)
- P2-39 非専門家向けの強震指標リアルタイム表示システムの試作
 °中村洋光・功刀 卓・内藤昌平・青井 真・藤原広行・東 宏樹 (防災科研)

- P2-40 緊急地震速報における東南海海底地震計活用のための走時補正・マグニチュード補正の検討
 °林元直樹・岩切一宏・干場充之 (気象研)
- P2-41 深井戸の強震データによる震度予測：震度差による方法とスペクトル比による方法
 °岩切一宏・干場充之 (気象研)
- P2-42 強震動の継続時間から見た破壊伝播の特徴
 °青木重樹・吉田康宏・勝間田明男 (気象研)
- P2-43 観測点の揺れ易さ推定における震源の破壊伝播特性の影響
 °小林祐介・泉谷恭男 (信州大工)
- P2-44 震源スペクトル比を用いた小地震の応力降下量の推定
 °鈴木克也・泉谷恭男 (信州大工)
- P2-45 1952年と2003年十勝沖地震の震源過程
 °小林広明・三宅弘恵・瀨瀬一起 (東大地震研)・金森博雄 (Caltech)
- P2-46 2008年岩手・宮城内陸地震の震源過程—内陸地殻内地震のピークモーメントレート分布—
 °吉田邦一・宮腰 研 (地盤研)・入倉孝次郎 (愛知工大)・羽田浩二 (ニュージェック)
- P2-47 強震動予測のための動的震源モデル
 °加瀬祐子 (産総研)・関口春子 (京大防災研)
- P2-48 地震波干渉法を用いた台湾新竹市における重力基盤構造モデルの検証
 °松本敬太郎・谷川正真・盛川 仁 (東工大総理工)・陳 慧慈・曹 栄凱 (台湾國立中央大)
- P2-49 深層および浅層の3次元構造を考慮した2009年駿河湾の地震の強震動シミュレーション
 °佐口浩一郎 (日本アムスコ)・倉橋 奨・正木和明・入倉孝次郎 (愛知工業大)
- P2-50 地震動伝播における海水の影響—2次元差分法による検討—
 °西條裕介 (構造計画研究所)・古村美津子 (地震予知振興会)
 野田朱美・庄司正弘 (構造計画研究所)・松浦律子 (地震予知振興会)
- P2-51 南海トラフの巨大地震による長周期地震動に関する検討
 °前田宜浩・森川信之・青井 真・藤原広行 (防災科研)
- P2-52 距離減衰式の要素の新提案：プレート境界面深度の利用
 °松浦律子・古村美津子 (地震予知振興会)・鈴木晴彦 (応用地質)
- 地震教育・地震学史**
- P2-53 震度による被害状況の違いを視覚化する教材～被災前状況を設定した被害状況イラストの作成～
 °林 能成 (関西大社会安全)・高山みほ (デザイナー)
- 地震の理論・解析法**
- P2-54 散乱波の時間・周波数領域でのスペクトログラム形状と散乱体の物性量との関係
 °蓬田 清 (北大理)・平 貴昭 (加州大バークレー校)
- P2-55 自由振動の解析によるアフタースリップの検出について
 °五十嵐光嗣 (東大理)・谷本俊郎 (UCSB)
- P2-56 弾塑性モデルに基づく水土連成動的有限要素解析を用いた地震荷重による地殻内部応力と過剰間隙水圧の変動予測
 °阪口 秀・山本由弦・氏家恒太郎 (JAMSTEC)・包 小華・張 鋒 (名工大)
- P2-57 南アフリカ金鉱山の断層近傍における地震波干渉法により推定したグリーン関数と透過弾性波記録の比較
 °吉光奈奈・川方裕則 (立命館大)・中谷正生 (東大)・J. Philipp (GMuG)・直井 誠 (東大)
 土井一生 (立命館大)・T. Ward (Seismogen)・V. Visser (OHMS)・G. Morema (Seismogen)
 S. Khambule・T. Masakale (OHMS)・A. Milev・R. J. Durrheim (CSIR)
 L. Ribeiro (First Uranium), M. Ward (Seismogen)・小笠原宏 (立命館大)
- P2-58 モーメントテンソル解析における推定誤差の検討
 °笠原天人・八木勇治 (筑波大生命環境)

地震計測・処理システム

- P2-59 自己浮上式海底地震計へ搭載可能な上下変動計（圧力計）の開発
°佐藤利典（千葉大理）・松原忠泰（東京測振）・河野昭博（千葉大理）
- P2-60 南海トラフ C0002 長期孔内観測点に設置されたセンサーの特性について
°木村俊則・荒木英一郎・北田数也・木下正高（JAMSTEC）・高山博之（気象庁）
- P2-61 ゆっくり地震観測のための長周期地震計の開発
°出口雄大・新谷昌人（東大地震研）
- P2-62 高感度 IT 強震計による微動観測システム
°伊藤貴盛・鷹野 澄（東大情報学環 / 地震研）
- P2-63 長期機動地震観測を可能とする携帯電話データ伝送システムの開発
°平原 聡（東北大理予知セ）
- P2-64 地震記象紙検索システムの構築
°岩佐幸治（地震予知振興会）・平原 聡（東北大理予知セ）・古村美津子
鈴木保典・松浦律子（地震予知振興会）・海野徳仁（東北大理予知セ）
- P2-65 地震波アクロス震源を用いた上下加震と水平加震の合成試験観測
°笠原順三（NTT データ CCS, 静岡大）, 伊藤慎司（NTT データ CCS）, 羽佐田葉子（大和探査）
高野正充, ギデアンドレ, 藤原友宏（NTT データ CCS）, 鶴我佳代子（東京海洋大）, 藤井直之（静岡大）
- P2-66 余震・群発自動震源決定処理の開発 (2)
°勝間田明男・青木重樹・林元直樹・吉田康宏・木村一洋（気象研）
- P2-67 最大振幅を用いた早期マグニチュード推定
°勝間田明男・青木重樹・吉田康宏・木村一洋（気象研）
- P2-68 緊急地震速報翻訳活用ソフト（Web 版）の改良
°鶴岡 弘・鷹野 澄・中川茂樹（東大地震研）
- P2-69 即時的マグニチュード推定手法の検証
°吉田康宏・青木重樹・勝間田明男・横田 崇（気象研）
- P2-70 弾性波を用いた火星表層構造探査
°前田俊介・新谷昌人（東大地震研）

日本の地殻内状態のモデル化を目指して

- P2-71 地殻内応力分布は何に起因するか－原位置地殻応力測定の場合－
°小村健太郎（防災科研）
- P2-72 大きな破壊への準備過程：数値実験にもとづく考察
°堀 高峰・阪口 秀（JAMSTEC）
- P2-73 平成 23 年東北地方太平洋沖地震の震源域における b 値の時空間変化と地殻内応力推定
°楠城一嘉・平田 直・小原一成・笠原敬司（東大地震研）
- P2-74 粉体摩擦 – 速度弱体化から速度強化への遷移 –
°桑野 修（東大地震研）・安藤亮輔（産総研）・波多野恭弘（東大地震研）

津波

- P2-75 海底地形の効果が津波伝播に与える影響に関する研究
°大畑朋也・三ヶ田均・後藤忠徳・武川順一（京大）
- P2-76 後続波による津波最大振幅の出現時および振幅の性質－日本の津波カタログによる検討
°林 豊・対馬弘晃・前田憲二（気象研）
- P2-77 太平洋を伝播する津波の観測波形と計算波形に生じる時間差
°楠本 聡・上野俊洋・室谷智子・鶴岡 弘・佐竹健治（東大地震研）
- P2-78 東京湾における津波の伝播特性に関する数値実験
°今井健太郎（東北大）・都司嘉宣（東大地震研）・林 豊（気象研）

- P2-79 1969年北海道東方沖地震の津波波形解析
 °伊尾木圭衣・谷岡勇市郎(北大)
- P2-80 New insights into the 21 May 2003 tsunami in the Mediterranean region through tide gauge data analysis
 ° Mohammad Heidarzadeh (ERI, Univ. Tokyo; Faculty of Civil and Environmental Engineering, Tarbiat Modares University, Tehran, Iran), Kenji Satake (ERI, Univ. Tokyo), Michael Tsimplis (Ocean Observing and Climate, National Oceanography Centre- Southampton, UK)

10月14日(金) 16:30～18:00 ポスター会場

ポスターセッション (P3-01～P3-81)

2011年東北地方太平洋沖地震(地震活動, 地震予知, 津波, その他)

- P3-01 2011年東北沖地震のP波と表面波によって誘発された四国西部の低周波微動
 °宮澤理稔(京大防災研)
- P3-02 2011年東北地方太平洋沖地震直後に誘発された西日本における微小地震・微動活動
 °小原一成(東大地震研)・松澤孝紀(防災科研)
- P3-03 熊野灘における2011年東北地方太平洋沖地震にともなう地震活動度の変化
 °中野 優・中村武史・金田義行(JAMSTEC)
- P3-04 東北地方太平洋沖地震による逆断層への応力降下と地震活動の低下
 °廣瀬志保・遠田晋次(京大防災研)
- P3-05 アレイ観測で捉えられた2011年東北地方太平洋沖地震直後の四国西部における誘発微動
 °松澤孝紀・武田哲也・汐見勝彦(防災科研)・小原一成(東大地震研)
- P3-06 東北地方太平洋沖地震の表面波通過時に発生した箱根火山の地震
 °行竹洋平・本多 亮・原田昌武・明田川保・伊東 博
 吉田明夫(神奈川温地研)・坂上 実・瀨瀬一起(東大地震研)
- P3-07 2011年東北地方太平洋沖地震による茨城県北部・福島県南東部の誘発地震活動
 °加藤愛太郎・五十嵐俊博・酒井慎一・小原一成(東大地震研)・武田哲也(防災科研)
 飯高 隆・岩崎貴哉・平田 直(東大地震研)・東北地方太平洋沖地震合同観測グループ
- P3-08 東北地方太平洋沖地震後の中規模固有地震活動
 °鎌谷紀子(気象大学校)・勝間田明男(気象研)
- P3-09 2011年東北地方太平洋沖地震後の東北地方北部内陸の誘発地震活動
 °小菅正裕・渡邊和俊(弘前大理工)
- P3-10 前震の経験則に基づく東北地方太平洋沖地震の予測可能性
 °前田憲二・弘瀬冬樹(気象研)
- P3-11 2011年4月11日福島県浜通りの地震(M7.0)に伴う温泉の変化
 °佐藤 努・風早康平・安原正也・伊藤順一・高橋 浩・森川徳敏
 高橋正明・稲村明彦・半田宙子・松本則夫(産総研)
- P3-12 2011年東北地方太平洋沖地震で励起された大気擾乱の計算
 °小林直樹(JAXA/宇宙研)
- P3-13 長周期Gフェーズによる巨大地震の早期認識とマグニチュード推定の試み
 °石原 靖(JAMSTEC)
- P3-14 震源近傍の観測点におけるMwp - 東北地方太平洋沖地震の例
 °坪井誠司(JAMSTEC)・Barry Hirshorn・Stuart Weinstein (PTWC)
- P3-15 2011年東北地方太平洋沖地震における初期水位分布と海底地形調査による地震発生前後の地形変化の検証
 °中村武史・馬場俊孝・富士原敏也・野 徹雄・小平秀一・堀 高峰・金田義行(JAMSTEC)

- P3-16 東北地方太平洋沖地震の津波高分布の特徴
 °都司嘉宣・佐竹健治・石辺岳男・原田智也・金 幸隆・西山昭仁・室谷智子・上野俊洋
 杉本めぐみ・大木聖子・楠本 聡・泊 次郎・M. Heidarzadeh (東大地震研)・今井健太郎 (東北大)
 B.H.Choi (成均館大)・S.B.Yoon・J.S.Bae (漢陽大)・K.O.Kim・H.W.Kim (韓国科技院)
- P3-17 茨城県北茨城市から千葉県旭市における 2011 年東北地方太平洋沖地震津波の現地調査結果
 °林 豊・前田憲二・対馬弘晃・岡田正實・木村一洋・岩切一宏 (気象研)
 菅谷晴臣・田中三樹男・大嶋幸雄 (水戸地方気象台)
- P3-18 断層を仮定しない津波波形インバージョンによる 2011 年東北地方太平洋沖地震時の海底変動
 °上野俊洋・佐竹健治・酒井慎一・篠原雅尚・金沢敏彦 (東大地震研)
- P3-19 有限要素法による 3 次元津波伝播シミュレーション：2011 年東北地方太平洋沖地震への適用
 °大石裕介 (欧州富士通研)・Matthew D. Piggott (ICL)・前田拓人 (東大情報学環、地震研)
 Rhodri B. Nelson・Gerard J. Gorman・Stephan C. Kramer・Gareth S. Collins (ICL)
 対馬弘晃 (気象研)・古村孝志 (東大情報学環、地震研)
- P3-20 2011 年東北地方太平洋沖地震の津波波形インバージョン
 °藤井雄士郎 (建築研)・佐竹健治・酒井慎一・篠原雅尚・金沢敏彦 (東大地震研)
- P3-21 津波と深海における底層流変化
 °岩瀬良一 (JAMSTEC)・高橋一郎・加藤賢一 (MWJ)
- P3-22 2011 年東北地方太平洋沖地震・津波によって発生した地球磁場変動の観測
 °大久保 寛 (首都大システムデザイン)・竹内昭洋 (東海大地震予知研究セ)・須山裕太
 村井太一 (首都大システムデザイン)・長尾年恭・笹井洋一 (東海大地震予知研究セ)・竹内伸直 (東北大理)
- プレート境界のモニタリング研究を地震予測につなげるために**
- P3-23 地震・津波観測監視システム (DONET) の構築と DONET2 の状況
 °金田義行・川口勝義・荒木英一郎・松本浩幸・中野 優・中村武史・有吉慶介
 高橋成実・神谷眞一郎・馬場俊孝・西田周平・崔 鎮圭 (JAMSTEC)
- P3-24 立体アレーを用いた深部低周波地震 (LFE) の P 波と S 波の検出 (2)
 °鈴木貞臣・大久保慎人 (東濃地震科研)・今西和俊・北川有一・武田直人 (産総研)
- P3-25 豊後水道における非火山性微動の振幅頻度分布の時空間的変動
 °岸本 剛・須田直樹 (広島大理)
- P3-26 日向灘における余効すべりとスロースリップイベント共存のモデル化
 °中田令子・兵藤 守・堀 高峰 (JAMSTEC)
- 地殻変動・GPS・重力**
- P3-27 2005 年から 2010 年頃に発生した四国中部の地殻変動
 小林昭夫・°木村一洋 (気象研)
- P3-28 小さく短期的な変化を検出するためのひずみ計の降水補正 (1)
 °木村一洋 (気象研)
- P3-29 ひずみ計データの重ねあわせ処理による検知力の向上 (その 2)
 °宮岡一樹・長谷川浩 (気象庁)・横田 崇 (気象研)
- P3-30 真性ひずみ信号抽出への状態空間アプローチ
 °高波鐵夫・平田 直 (東大地震研)・北川源四郎 (情報システム機構)
 上垣内修 (気象庁)・Alan T Linde・Selwyn I Sacks (Carnegie Inst)
- P3-31 Hi-net 傾斜計記録を用いた短期的スロースリップイベントの自動検出 - 紀伊半島・東海地域への適用 -
 °木村武志・廣瀬 仁 (防災科研)・小原一成 (東大地震研)・木村尚紀 (防災科研)
- P3-32 豊後水道で発生する長期的スロースリップイベントについて
 °松岡美子 (神戸大理)・吉岡祥一 (神戸大都市安全セ / 理)
- P3-33 豊後水道スロースリップ域の西側隣接域で発生した長期的スロースリップイベント
 °矢来博司・小沢慎三郎 (国土地理院)

- P3-34 別府島原地溝帯および周辺における GPS 稠密観測 2
 °中尾 茂 (鹿大理工)・松島 健 (九大地震火山セ)・大倉敬宏 (京大火山研究セ)
- P3-35 地震学的手法を用いた海底地殻変動観測のための海中音速構造の時空間変化の検出
 °江藤周平・永井 悟・田所敬一 (名大環境)
- P3-36 Afterslip Following 2004 Sumatra-Andaman Earthquake in Northern Sumatra Deduced from AGNeSS data
 ° E. GUNAWAN,T. SAGIYA,T. ITO,F. KIMATA (Nagoya Univ.),T. Tabei (Kochi Univ.)
 I. MEILANO (ITB),D. SUGIYANTO,IRWANDI (Syiah Kuala Univ.)
- P3-37 重力測定のためのフォースバランス型デジタルサーボセンサーの開発
 横井 勇・須田治夫 (東京測振)・°小倉祐美子・徳江 聡・盛川 仁 (東工大総理工)
- P3-38 静岡県内の最近数年間の相対重力計による重力変化
 金澤洋平 (富山大理)・°楠本成寿 (富山大院理工)・長尾年恭 (東海大海洋研)
 大久保修平 (東大地震研)・里村幹夫 (静岡大理)
- P3-39 InSAR データを用いた 2010 年 El Mayor-Cucapah 地震のすべり分布の推定と余効変動の解析
 °岡本淳一・橋本 学・福島 洋 (京大防災研)

地震発生の物理

- P3-40 温度構造から導く、プレート境界の平時のずれとずれ残りの原因～宮城県沖と福島県沖の差～
 °間瀬博文
- P3-41 釜石沖繰り返し地震の震源域で 2011 年 3 月 20 日に発生した地震 (M5.9) の破壊過程の推定と 2011 年東北地方太平洋沖地震 (M9.0) との関係
 °島村浩平・松澤 暢・岡田知己・内田直希 (東北大予知セ)
- P3-42 曲面状断層面を使った測地・遠地地震波形データのインバージョンから推定される 1923 年関東地震の震源過程
 °小林励司 (鹿大理工)・額額一起 (東大地震研)
- P3-43 三次元グリーン関数を用いた 1923 年関東地震の震源過程解析
 °尹 淳恵・額額一起 (東大地震研)・小林励司 (鹿大理工)
- P3-44 海溝型巨大地震震源域周辺における浅部ゆっくり地震の特徴
 °有吉慶介・堀 高峰・中田令子・金田義行 (JAMSTEC)
 Jean-Paul Ampuero (Caltech)・松澤 暢・日野亮太・長谷川昭 (東北大予知セ)
- P3-45 フィリピン海プレートと太平洋プレートの沈み込みイベントに伴う西南日本内陸活断層のクーロン破壊関数の変化
 °鹿倉洋介 (京大理)・深畑幸俊 (京大防災研)・平原和朗 (京大理)
- P3-46 非火山性深部低周波微動から推定した西南日本のプレート境界遷移領域におけるすべり分布
 °石田亮介・平松良浩 (金沢大)・小原一成 (東大地震研)・松澤孝紀 (防災科研)
- P3-47 四国西部における深部低周波微動マルチアレイ観測
 °武田哲也・松澤孝紀・汐見勝彦 (防災科研)・小原一成 (東大地震研)
- P3-48 地震計アレイ観測による紀伊半島南部の深部低周波微動域の異方性構造
 °雑賀 敦 (東濃地震科研)・加藤愛太郎・蔵下英司・飯高 隆 (東大地震研)
 津村紀子 (千葉大理)・岩崎貴哉・酒井慎一・平田 直 (東大地震研)
- P3-49 やや古いプレート沈み込みに伴う微動活動 九州とニュージーランド
 °矢部 優・井出 哲 (東大理)
- P3-50 跡津川断層周辺で発生する微小地震のメカニズム解：より詳細な広域応力場の理解に向けて
 °高田陽一郎 (京大防災研)・勝俣 啓 (北大地震火山セ)・片尾 浩 (京大防災研)・小菅正裕 (弘前大理工)
 飯尾能久 (京大防災研)・鷲谷 威 (名大環境)・歪集中帯大学合同地震観測グループ
- P3-51 Source Rupture Process of 2010 Mentawai Earthquake Determined by Inversion of Teleseismic and Near-Source Data
 Iman Fatchurochman (BMKG, Indonesia), ° Yuji Yagi (Univ. of Tsukuba)

- P3-52 グリーン関数の不確定性を考慮した波形インバージョン法を用いた津波地震の震源破壊過程の再検討
 °江崎隼輝・八木勇治 (筑波大生命環境)
- P3-53 Source mechanism of a very-long-period seismic event observed during the 2000–2002 volcanic activity at Mt.Bandai
 ° Pacheco–Vivero Karim, Takeshi Nishimura, Haruo Sato (Geophysics, Science, Tohoku University)
- P3-54 Thermal pressurization と間隙水の相変化を考慮した動的破壊過程の数値実験
 °浦田優美・久家慶子 (京大理)・加瀬祐子 (産総研)
- P3-55 簡単な地震モデルにおける地震規模の大偏差関数の数値計算
 °光藤哲也・加藤尚之 (東大地震研)
- P3-56 媒質境界を考慮した XBIEM の応力核関数の導出と二層媒質中の破壊解析
 °日下部哲也・亀 伸樹 (東大地震研)

地震予知

- P3-57 深発地震の多発現象と巨大地震 2011.3.11 東北地方太平洋沖地震の場合
 °平道富作士 (待夢地震予知)
- P3-58 前震の確率予報の実施と評価：東北地方太平洋沖地震までの 15 年間
 °尾形良彦・桂 康一 (統数研)
- P3-59 大地震前に現れる G-R 則からの逸脱について
 °弘瀬冬樹・前田憲二 (気象研)

地球化学・地下水

- P3-60 1995 年神戸地震以降の須磨断層付近の地下水の Li 同位体変化：地震発生と地殻深部流体の関係解明にむけて
 °西尾嘉朗 (JAMSTEC)・西本真琴 (和歌山高専)・野口拓朗・岡村 慶 (高知大海洋コア)
- P3-61 東北地方太平洋沖地震に伴う北海道北部地下水観測井における地下水位変化
 °宮川和也・野原 壯・山崎雅則・常盤哲也 (JAEA)

地震に伴う諸現象

- P3-62 地震波によって励起される磁場変動の大きさ：観測値と理論値の比較
 °山崎健一 (京大防災研宮崎)

地盤構造・地盤震動

- P3-63 大阪堆積盆地における脈動 H/V スペクトルの差分法による再現
 °上林宏敏・川辺秀憲・釜江克宏 (京大原子炉)
- P3-64 長時間観測による微動アレイ探査
 °吉見雅行 (産総研活断層セ)・杉山長志 (中央開発)
 林田拓己 (産総研活断層セ)・徳丸哲義 (徳丸技術士事務所)
- P3-65 藤沢市における浅部・深部統合地盤モデルの作成
 °先名重樹 (防災科研)・稲垣賢亮・松山尚典 (応用地質)・藤原広行 (防災科研)
- P3-66 筑紫平野北東部における微動アレイ探査
 °奥平良太・竹中博士 (九州大)・山田伸之 (福岡教育大)
- P3-67 筑紫平野北野地域における地盤震動特性
 °山田伸之・河野 友・原田圭輔 (福岡教育大)
- P3-68 段発発破波形の相関による速度構造の推定
 °大久保慎人・雑賀 敦・鈴木貞臣 (東濃地震科研)
- P3-69 Characterization of duration and envelope shape of time-domain site-effects (0.08 ~ 0.7 s) in the Osaka basin.
 ° Moises Contreras, Tomotaka Iwata (DPRI, Kyoto Univ.)
- P3-70 地震記録を用いた観測点直下の地盤構造の推定方法の比較：大阪堆積盆地の場合
 °堀川晴央 (産総研)
- P3-71 中京地域における地震波干渉法の適用
 °林田拓己・吉見雅行・堀川晴央 (産総研活断層セ)

- P3-72 長野県松本市における 2011 年臨時強震観測
 °三宅弘恵・坂上 実・瀬戸一起 (東大地震研)
- P3-73 地表震源による波動場に対する地震波干渉法の適用性に関する検討
 °堤 若菜・山中浩明・地元孝輔・津野靖士 (東工大)
- P3-74 Normalized Energy Density による内部減衰の直接推定法の検討
 °河村雄一 (京大工)・後藤浩之・澤田純男 (京大防災研)・赤澤隆士 (地域地盤環境研)
- P3-75 2011 年東北地方太平洋沖地震前後の強震記録を用いた東京理科大学野田キャンパスの長周期地震動特性
 °永野正行 (東理大)・大川 出・小山 信 (建築研)
- P3-76 SI センサ波形記録を用いた関東平野の地震基盤構造の推定
 °吉本和生 (横浜市大)・中原 恒 (東北大)・佐藤比呂志 (東大地震研)

地震一般・その他

- P3-77 地震波の可聴周波数への変換について
 °坂尻直巳
- P3-78 M9.0 発生前後における福井県及び周辺の地震活動
 °岡本拓夫 (福井高専)・平野憲雄・竹内文朗・西上欽也 (京大防災研)
- P3-79 月探査用ペネトレータの技術開発と将来計画の展望
 °白石浩章・小林直樹・山田竜平・早川雅彦・田中 智・早川 基 (JAXA 宇宙研)
 村上英記 (高知大)・竹内 希 (東大地震研)・岡元太郎 (東工大)・石原 靖 (JAMSTEC)
- P3-80 月地震データベースと公開システムの開発
 °山田竜平・山本幸生 (ISAS/JAXA)・桑村 潤 (日本 PostgreSQL ユーザー会)・中村吉雄 (テキサス大)
- P3-81 次期月探査計画 SELENE-2 の着陸地検討結果
 °小林直樹 (JAXA 宇宙研)・石原吉明 (国立天文台 RISE)・荒井朋子 (千葉工大惑星探査研究セ)
 荒木博志 (国立天文台 RISE)・大竹真紀子 (JAXA 宇宙研)
 唐牛 譲 (JAXA 月・惑星探査プログラムグループ)・佐伯和人 (大阪大)
 佐藤広幸 (アリゾナ州立大)・杉原孝充 (JAMSTEC 地球深部探査セ)
 春山純一 (JAXA 宇宙研)・本田親寿 (会津大 ARC-Space)